

教育委員会の権限に属する事務の
管理及び執行の状況に係る点検・
評価に関する報告書

(令和元年度事業分)



令和2年9月
雲仙市教育委員会



雲仙市教育方針

雲仙市教育委員会は、広く市民の理解、協力、参画のもとに、「明日を担う人づくりと誇りあるふるさとづくり」を推進する。

このため、人間尊重の精神を基調として、生涯を通じて学び、郷土を愛し、郷土の自然・歴史・文化に誇りを持ち、国際社会に貢献できる調和のとれた個性豊かな人間の育成を図る。

特に、教育に携わる者は、その使命感に徹し、自らの識見を高めるとともに、深い教育愛とすぐれた指導力を身につけ、相和して本市教育の充実発展に努める。

雲仙市教育努力目標

- ふれあい、学びあい、認めあう生涯学習の推進
- 豊かな心と自ら学ぶ力をはぐくむ学校教育の実現
- 明るい社会をつくる人権・同和教育の推進
- 夢と希望をもち、たくましさ・やさしさを身につけた青少年の育成
- 郷土の豊かさはぐくむ芸術・文化の振興
- 健康で明るく、たくましい心とからだをはぐくむ生涯スポーツの振興
- 国際性豊かな人づくりの推進

目 次

1. はじめに	P 1
2. 雲仙市教育委員会の活動状況	P 2~7
(1) 教育委員会の構成		
(2) 教育委員会及び教育委員の主な活動報告		
①教育委員会開催		
②教育長及び教育委員による学校、社会教育施設訪問		
③その他の活動		
3. 雲仙市教育振興基本計画体系図	P 8
4. 点検及び評価の概要	P 9
(1) 点検及び評価の対象		
(2) 点検・評価方法		
5. 「施策の方針」の自己評価結果	P 9
6. 主要施策に係る点検評価シート		
(1) 教育環境の整備	P 10~12
①小・中学校施設の整備		
②社会教育施設等の整備		
③情報教育環境の整備		
(2) 学校教育の充実	P 13~20
①確かな学力を育成する教育の推進		
②豊かな心を育む教育の推進		
③学校体育の推進		
④健康安全教育の推進		

⑤特別支援教育の推進	
⑥教育相談事業の推進	
⑦国際理解教育の推進	
⑧安全・安心な学校給食の提供と食育の推進	
(3) 生涯学習の推進	…………… P 21～24
①青少年の健全育成の推進	
②読書環境の充実	
③多様な生涯学習プログラムの実施	
④人権啓発活動の推進	
(4) 文化芸術の振興と歴史の継承	…………… P 25～30
①文化芸術活動の推進	
②伝統的建造物群保存地区事業の推進	
③重要文化財 旧鍋島家住宅の公開活用	
④伝統文化の継承	
⑤文化財保護啓発の推進	
⑥埋蔵文化財の保存活用	
(5) スポーツの振興	…………… P 31～34
①運動・スポーツ活動の日常化の推進	
②スポーツの競技力向上	
③ジュニアスポーツの推進	
④快適な活動の場の提供	
7. 学識経験者の所見	…………… P 35～38

1. はじめに

雲仙市教育委員会では、「明日を担う人づくりと誇りあるふるさとづくり」を推進するために、雲仙市教育方針や努力目標を掲げ、様々な取組を進めてまいりました。さらに平成28年4月に、平成28年度から令和2年度までを計画期間とする「雲仙市教育振興基本計画」を策定し、この計画を教育行政推進の基本と位置づけ、その目標達成に向け様々な施策を展開しています。

さて、雲仙市教育委員会は、毎年その権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の報告書を作成し、雲仙市議会に提出するとともに、市民の皆様公表しているところです。

これは、平成19年6月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の改正に伴い、同法第26条の規定に基づき、平成19年度事業分から点検・評価が義務付けられたものです。

今年で13回目となりますが、平成28年度分からは「雲仙市教育振興基本計画」における主要施策の進捗状況（令和元年度事業分）を点検・評価の対象とし、併せて教育委員会の活動状況を報告いたしております。

また、同法第26条第2項により、点検・評価を行うに当たっては、教育に関し、学識経験を有する者の知見の活用を図ることとなっていることから、元雲仙市立鶴田小学校長 江川儀平 氏に所見をいただいております。

雲仙市教育委員会では、今回の点検・評価及び 江川儀平 氏の所見を基に教育委員会の活性化及び事務事業の推進など、教育行政の担い手としての役割を發揮し、更なる教育の充実に努めてまいり所存です。

令和2年 9月18日

雲仙市教育委員会

2. 雲仙市教育委員会の活動状況

雲仙市教育委員会の会議は毎月1回、定例会を開催するほか、必要に応じて臨時会を開催し、施策や事業の効果的・効率的な実施や緊急な課題への適切な対応を図るための協議等を重ねています。

定例会以外では、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第1条の4に基づき、総合教育会議（2回）において教育行政が抱える諸問題や雲仙市教育大綱の策定について市長との協議を行いました。また学校訪問等を通じて、教育行政運営に関する課題等を把握するとともに、その他の活動にも積極的に参加するなど、教育行政の中心的な役割を担い、教育施策の推進を図りました。

(1) 教育委員会の構成（令和2年4月1日現在）

区別	氏名	年齢	任期	
			任命年月日	満了年月日
教育長	下田 和章	58	令和2年 3月1日	令和5年 2月28日
教育委員 (教育長職務代理者)	前田 眞一	66	平成30年12月2日	令和4年12月 1日
教育委員	中村 妙子	63	平成29年12月2日	令和2年12月 1日
教育委員	森下 祐樹	48	平成29年12月2日	令和3年12月 1日
教育委員	仁禮智加子	43	令和元年12月2日	令和5年12月 1日

(2) 教育委員会及び教育委員の主な活動報告

①教育委員会開催

令和元年度は、定例会を12回、臨時会を2回開催し、教育長に委任された教育に関する事務の執行の状況を確認するとともに議案47件、報告事項11件について審議等を行いました。

会議名 (開催日)	種別	主な審議事項
第1回 定例会 (4月24日)	報告	雲仙市社会体育施設の管理運営に関する規則の一部を改正する規則
	報告	雲仙市伝統的建造物群保存地区保存審議会委員の委嘱について
	報告	雲仙市図書館協議会委員の委嘱について

会議名 (開催日)	種別	主 な 審 議 事 項
第2回 定例会 (5月29日)	議案	議会の議決を経るべき議案についての意見の申出について(雲仙市立小・中学校設置条例の一部を改正する条例について)
	議案	議会の議決を経るべき議案についての意見の申出について(雲仙市文化会館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について)
	議案	議会の議決を経るべき議案についての意見の申出について(動産の買入れについて)
	議案	議会の議決を経るべき議案についての意見の申出について(令和元年度一般会計補正予算(第1号)について)
	議案	雲仙市教育支援委員会委員の委嘱について
	議案	雲仙市学校給食運営審議会委員の委嘱について
第3回 定例会 (6月26日)	議案	雲仙市立小・中学校学力調査業務プロポーザル審査委員会設置要綱の制定について
	議案	雲仙市立小・中学校学力調査業務プロポーザル審査委員会委員の委嘱について
第4回 定例会 (7月30日)	議案	議会の議決を経るべき議案についての意見の申出について(令和元年度一般会計補正予算(第2号)について)
	議案	令和2年度使用小学校教科用図書の採択について
	議案	令和2年度使用中学校教科用図書の採択について
第5回 定例会 (8月27日)	議案	雲仙市文化会館の設置及び管理に関する条例施行規則の一部を改正する規則について
	議案	雲仙市公民館等図書室管理運営規則の制定について
	議案	平成30年度事業分に関する「教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況に係る点検・評価に関する報告書」の作成について
第6回 定例会 (9月24日)		議案なし 教育長に委任された教育に関する事務の執行の状況を確認 (教育長月例報告・各課の取組状況、雲仙市教育大綱について)
第7回 定例会 (10月28日)	報告	教育委員会事務局職員の人事異動について
	議案	議会の議決を経るべき議案についての意見の申出について(指定管理者の指定について)
	議案	議会の議決を経るべき議案についての意見の申出について(損害賠償の額の決定及び和解について)
	議案	雲仙市立小・中学校処務規則の一部を改正する規則について

会議名 (開催日)	種別	主 な 審 議 事 項
第 8 回 定例会 (11月20日)	議案	議会の議決を経るべき議案についての意見の申出について(令和元年度一般会計補正予算(第5号)について)
第 1 回 臨時会 (12月2日)	報告	雲仙市教育委員会の構成について
第 9 回 定例会 (12月23日)	報告	議会の議決を経るべき議案についての意見の申出について(損害賠償の額の決定及び和解について)
	報告	議会の議決を経るべき議案についての意見の申出について(令和元年度一般会計補正予算(第6号)について)
第 1 0 回 定例会 (1月21日)	議案	雲仙市学校教育振興補助金交付要綱の制定について
第 1 1 回 定例会 (2月26日)	議案	議会の議決を経るべき議案についての意見の申出について(雲仙市立公民館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について)
	議案	雲仙市立小・中学校の通学区域に関する規則の一部を改正する規則について
	議案	議会の議決を経るべき議案についての意見の申出について(工事請負契約の締結について 雲仙市新小浜体育館(仮称)建築主体工事)
	議案	議会の議決を経るべき議案についての意見の申出について(工事請負契約の締結について 雲仙市新小浜体育館(仮称)電気設備工事)
	議案	議会の議決を経るべき議案についての意見の申出について(工事請負契約の締結について 雲仙市新小浜体育館(仮称)機械設備工事)
	議案	議会の議決を経るべき議案についての意見の申出について(令和元年度一般会計補正予算(第7号)について)
	議案	議会の議決を経るべき議案についての意見の申出について(令和2年度一般会計当初予算について)
	議案	令和2年度雲仙市立小・中学校教職員人事異動の内申について
	議案	雲仙市立小・中学校管理規則の一部を改正する規則について
	議案	雲仙市立小・中学校共同実施室の設置並びに組織及び運営に関する規程の一部を改正する規程について
第 2 回 臨時会 (3月2日)	報告	教育長の就任について
	報告	教育長職務代理者の指名について
	報告	教育委員会事務局職員の人事異動について

会議名 (開催日)	種別	主 な 審 議 事 項
第12回 定例会 (3月23日)	報告	教育委員会事務局職員の人事異動について
	議案	雲仙市学校施設長寿命化計画の策定について
	議案	雲仙市招致外国青年就業規則の一部を改正する規則について
	議案	雲仙市文化会館の設置及び管理に関する条例施行規則の一部を改正する規則について
	議案	雲仙市公民館等図書室管理運営規則の一部を改正する規則について
	議案	雲仙市小・中学生遠距離通学費補助金交付要綱の一部改正について
	議案	雲仙市小中学生芸術文化コンクール等出場費補助金交付要綱を廃止する要綱について
	議案	雲仙市芸術文化大会出場激励費交付基準の一部を改正する訓令について
	議案	雲仙市小中学生スポーツ大会出場費補助金交付要綱を廃止する要綱について
	議案	雲仙市スポーツ大会出場激励費交付基準の一部を改正する訓令について
	議案	雲仙市教育支援委員会委員の委嘱について
	議案	雲仙市スポーツ推進委員の委嘱について
	議案	雲仙市社会教育委員の委嘱について
	議案	雲仙市公民館運営審議会委員の委嘱について
	議案	雲仙市文化財保護審議会委員の委嘱について
	議案	雲仙市伝統的建造物群保存地区保存審議会委員の委嘱について
	議案	雲仙市教育委員会事務局処務規則の一部を改正する規則について
議案	雲仙市図書館の設置及び管理に関する条例施行規則の一部を改正する規則について	
議案	雲仙市文化会館運営審議委員の委嘱について	

②教育長及び教育委員による学校、社会教育施設訪問

市立小・中学校の学校経営及び学校施設等の整備状況を把握することで、学校教育への理解を深め、学校教育の振興を図ることを目的に、教育長及び教育委員による学校訪問を行い、それぞれの学校の日々の取り組みや施設の状況を確認しました。

また、令和元年度は、併せて社会教育施設や史跡、文化財等の視察を計画しましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため史跡、文化財等の視察は中止となりました。

期 日	訪 問 校	内 容
令和元年 8月27日	愛の夢未来センター	施設視察
令和元年10月 2日	大正小学校	学校経営概況説明及び質疑応答、学習環境、施設整備状況視察、授業参観など
令和元年10月 8日	大塚小学校	
令和2年 3月12日	オキチモズク発生地、守山古墳、火箱遺跡ほか	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

③その他の活動

期 日	活動内容	備 考
平成31年 4月 1日	転入教職員辞令交付式	
平成31年 4月 2日	新規採用教職員辞令交付式	
平成31年 4月 9日	市内中学校入学式	
平成31年 4月10日	市内小学校入学式	
令和元年 5月21日	長崎県市町村教育委員会連絡協議会総会及び研修会	諫早市
令和元年 6月 8日 ～9日	雲仙市中学校総合体育大会 球技・武道大会	
令和元年 6月25日	雲仙市中学校総合体育大会 陸上競技大会	長崎県立総合運動公園
令和元年 7月23日	総合教育会議 議題「雲仙市教育大綱の策定について」「各課の取り組みの現状と課題について」	「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づく市長との協議
令和元年 7月25日	「社会を明るくする運動」雲仙市中学生弁論大会	

期 日	活動内容	備 考
令和元年 7月26日	雲仙市民スポーツ大会総合開 会式	
令和元年 8月21日	雲仙市教育講演会	
令和元年10月20日	第6回雲仙市民運動会	
令和元年10月31日	国見中学校研究発表会	
令和元年11月 2日	長崎県民体育大会結団壮行式	
令和元年11月 4日	愛の夢未来センター開所式	
令和元年11月 7日	雲仙市中学校総合体育大会 駅伝大会	長崎県立総合運動公園
令和元年11月 7日	新任教育委員研修会	長崎市
令和元年11月 8日	長崎県市町村教育委員会研究 大会	長崎市
令和元年11月 8日	小浜小学校研究発表会	
令和元年12月 7日	雲仙市少年の主張大会	
令和2年 1月 4日	雲仙市成人式	
令和2年 1月 5日	雲仙市消防出初式	
令和2年 1月27日	総合教育会議 議題「雲仙市教育大綱の策定 について」	「地方教育行政の組織及 び運営に関する法律」に基 づく市長との協議
令和2年 2月13日	雲仙市美術展覧会オープニン グセレモニー	
令和2年 2月16日	雲仙小学校閉校記念式典	
令和2年 3月17日	市内中学校卒業式	新型コロナウイルス感染 拡大防止のため欠席
令和2年 3月18日	市内小学校卒業式	新型コロナウイルス感染 拡大防止のため欠席
令和2年 3月31日	教職員退職者辞令交付式	

3. 雲仙市教育振興基本計画体系図

雲仙市教育方針

明日を担う人づくりと誇りあるふるさとづくり

人間尊重の精神を基調として、生涯を通じて学び、郷土を愛し、郷土の自然・歴史・文化に誇りを持ち、国際社会に貢献できる調和のとれた個性豊かな人間の育成を図る。

特に、教育に携わる者は、その使命感に徹し、自らの識見を高めるとともに、深い教育愛とすぐれた指導力を身につけ、相和して本市教育の充実発展に努める。

施策の方針

主要施策

主な取組



4. 点検及び評価の概要

(1) 点検及び評価の対象

平成28年に策定した「雲仙市教育振興基本計画」の基本方針に基づく個々の主要施策(Plan)を点検の対象とし、その取組状況(Do)を評価検証する(Check)とともに、その事業達成に向け課題を明確化することにより、次年度以降の取組の方向性を示す(Action)、PDCA サイクルによる事務事業の点検及び評価を行います。

(2) 点検・評価方法

事務の点検及び評価については、各主要施策の取組や達成状況を踏まえ、進捗状況を5段階[A(5点)～E(1点)]で示し、それを平均したものを「施策の方針」の進捗状況としました。

「施策の方針」の評価区分	ランクの数値	主要施策ランク	
計画を上回って進捗	4.6 以上	A	5
計画どおり進捗	3.6～4.6 未満	B	4
一部課題はあるが概ね計画どおり進捗	2.6～3.6 未満	C	3
計画が、全体的に遅れがある	1.6～2.6 未満	D	2
計画の多くが未達成又は見直しが必要	1.6 未満	E	1

※「施策の方針」の評価＝主要施策ごとの点検シートのランクの数値合計÷主要施策数

5. 「施策の方針」の自己評価結果

雲仙市教育振興基本計画における各主要施策の取組や達成状況を踏まえた、「施策の方針」の自己評価結果（令和元年度事業分）は、以下のとおりとなりました。25の主要施策数のうちAランクが0施策、Bランクが16施策、Cランクが8施策、Dランクが0施策、Eランクが1施策となっております。

施策の方針	評価結果	主要施策数
教育環境の整備	B（平均3.7点）	3施策
学校教育の充実	B（平均3.6点）	8施策
生涯学習の推進	C（平均3.5点）	4施策
文化芸術の振興と歴史の継承	C（平均3.3点）	6施策
スポーツの振興	B（平均3.8点）	4施策

6. 主要施策に係る点検評価シート

(1) 教育環境の整備

点検評価シート

担当課 総務課

基本方針	教育環境の整備	主要施策 1	小・中学校施設の整備
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> 各学校で学校施設の定期的な安全点検を実施し、危険箇所の改修等により児童生徒の安全を確保する。 学校施設整備事業計画を作成し、快適に学習できる環境を整備する。 <p>【校舎と体育館の外壁の耐震化率の向上(H26) 26%→(H32) 50%以上】</p>		
元年度の取組状況	<p>○ 快適な学習環境づくり 小・中学校の安全で安心な教育環境を維持するため学校施設整備事業計画をもとに学校施設の修繕、改修工事等を実施した。</p> <p>【小・中学校施設大規模改修事業】 南串第二小学校浄化槽改築工事 (20,289千円)</p> <p>【小・中学校施設単独整備事業】 小学校施設単独整備事業 (101件・36,565千円) 中学校施設単独整備事業 (40件・19,037千円)</p> <p>○ 学校の教育環境改善及び防災機能強化 ①小中学校の夏季及び冬季における教育環境の改善を図るため、空調設備を整備した。 ②老朽化した校舎や体育館の外壁（非構造部材）の耐震補強を実施し、防災機能の強化と、安全安心な教育環境の整備を行った。</p> <p>【学校施設環境改善交付金事業（小・中学校）】 ①小中学校校舎空調整備工事 小学校 (17件・556,773千円) 中学校 (7件・250,199千円) ②校舎外壁等改修工事 南串第二小学校校舎外壁改修工事 (工事費：71,071千円) 愛野中学校校舎外壁等改修工事 (工事費：73,643千円)</p> <p>※ 校舎と体育館の外壁の耐震化率 36 % (令和2年度末現在)</p>		
評価検証及び課題	<ul style="list-style-type: none"> 快適な学習環境づくりに向けた整備については、国の学校施設環境改善交付金の採択を受け、教育環境の改善のため市内の小中学校17校、中学校7校の普通教室等に空調設備（エアコン）を設置し、計画通り完了した。 学校の防災機能強化については、国の学校施設環境改善交付金の採択を受け、南串第二小学校と愛野中学校の外壁等改修工事を行い、計画通り完了した。 市内の小中学校は、建築から40年を超える学校施設が多いことから、今後も維持していくためには、屋上防水や外壁などの改修を行う必要があるが、改修に係る予算の確保が目標達成に向けた今後の課題である。 		
自己評価	C	<p>A：計画を上回って進捗 B：計画どおり進捗 C：一部課題はあるが概ね計画どおり進捗 D：計画が全体的に遅れ E：計画に大幅な遅れ又は見直しが必要</p>	
次年度以降の取組	<ul style="list-style-type: none"> 「快適な学習環境づくり」については、引き続き屋上防水工事等の大規模改修工事と単独整備事業を進め、教育環境の改善に努める。 「学校の防災機能強化」については、国庫補助及び起債の活用など財源を確保しながら引き続き外壁改修に取り組んでいく。 		

<p>方基 針本</p>	<p>教育環境の整備</p>	<p>主要施策 2</p>	<p>社会教育施設等の整備</p>
<p>達成 目標</p>	<p>・施設の適切な維持管理を行うとともに老朽化した施設の改修を行う。 【老朽化した施設改修の実施 愛野町公民館及び図書館[愛野コミュニティセンター（仮称）内]、南串山図書室を平成32年度までに整備する。】</p>		
<p>元 年 度 の 取 組 状 況</p>	<p>○ 快適な教育環境づくり 社会教育施設等の整備 愛の夢未来センター整備【建設は政策企画課が担当】 令和元年6月竣工 11月4日（図書室は12月1日）オープン 南串山図書室整備【建設は政策企画課が担当】 平成30年4月23日オープン 老朽化した小浜町文化館は、5月7日から閉館 図書室は、7月から小浜総合支所2階へ移設</p> <p>○ 安全・安心な環境づくり 社会教育施設等の耐震診断 新小浜体育館建設事業【平成30年度から継続して実施】 令和2年4月8日 起工式（工期は令和3年11月まで）</p> <p>※瑞穂体育館については、耐震診断及び耐震工事の設計業務は行っているが、今後の施設のあり方について、結論が出ていないため、耐震工事は未着工。</p>		
<p>評価 検証 及び 課題</p>	<p>・南串山図書室、愛の夢未来センターについては、建設自体を政策企画課が担当し行ったが、南串山図書室については、平成30年4月、愛の夢未来センターについては令和元年11月にオープンすることができた。 ・小浜体育館は、令和2年4月に起工式を行い、令和3年11月までの工期で建設をスタートした。</p>		
<p>自己 評価</p>	<p>B</p>	<p>A：計画を上回って進捗 B：計画どおり進捗 C：一部課題はあるが概ね計画どおり進捗 D：計画が全体的に遅れがある E：計画の多くが未達成又は見直しが必要</p>	
<p>次 年 度 以 降 の 取 組</p>	<p>・小浜体育館は、令和3年11月の完成に向け工事を行う。 ・瑞穂体育館は耐震診断の結果を基に耐震補強工事の実設計を終えたが、施設の個別計画の方針が定まるまで保留とする。</p>		

基本方針	教育環境の整備	主要施策 3	情報教育環境の整備
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> ・パソコン、電子黒板等情報機器の整備を図り、時代に合ったICT環境を整備する。 ・電子教科書の導入検討を行う。 ・普通教室の電子黒板整備率(H26) 11%→(H32) 100% 		
元年度の取組状況	<p>○ 時代に合ったICT環境の整備 整備計画に沿って市内小中学校の児童生徒用パソコン、教職員用パソコン等の更新及び電子黒板等情報機器の導入を行う。</p> <p>【教育環境整備事業（小・中学校）】 デジタル教科書整備（6,048千円） 小学校 18校 国語・算数・理科・社会 中学校 7校 国語・数学・理科・社会・英語</p> <p>【教育環境整備事業（小学校）】 電子黒板関連機器整備事業（44,766千円） 小学校 16校 57台 整備内容 <ul style="list-style-type: none"> ・電子黒板機能付き超短焦点液晶プロジェクター ・スタンダー一体型スクリーン ・プロジェクター台 ・書画カメラ ・HDMIケーブル ・ノートパソコン ・雷ガードタップ </p> <p>小・中学校のすべての普通教室及び理科室に電子黒板関連機器を配置するという2か年の計画を完了した。</p> <p>※ 普通教室の電子黒板整備率 100%（令和2年度末現在）</p>		
評価検証及び課題	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタル教科書の導入については、小学校に国語・算数・理科・社会、中学校に国語・数学・理科・社会・英語を選定し、予定通り導入した。 ・普通教室及び理科室の電子黒板整備については、平成30年度に中学校を整備完了し、令和元年度に小学校へ57台整備し、整備率100%を達成した。 		
自己評価	B	<p>A：計画を上回って進捗 B：計画どおり進捗 C：一部課題はあるが概ね計画どおり進捗 D：計画が全体的に遅れ E：計画に大幅な遅れ又は見直しが必要</p>	
次年度以降の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・文部科学省のGIGAスクール構想を推進し、児童生徒1人1台端末の整備及び校内無線LAN整備を令和2年度中に実施する。 		

(2) 学校教育の充実

点検評価シート

担当課 学校教育課

基本方針	学校教育の充実	主要施策 1	確かな学力を育成する教育の推進
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> ・全国学力・学習状況調査において、小学校は全国平均正答率、中学校は県平均正答率を上回る。 【小学校 (H27) 全国比-4.9~-0.4 → (H32) 全国平均】 【中学校 (H27) 県比-4.4~-2.2 → (H32) 県平均】 		
元年度の取組状況	<p>○学力向上対策研修会 前年度の課題解決に向け外国語教育推進に特化した研修を実施した。</p> <p>第1回 (R01.5.30実施) ・伝達研修「小学校における外国語教育」(H30外国語指導者養成研修伝達) ・中学校区別グループ協議「小・中学校外国語指導の課題と小中連携の在り方」</p> <p>第2回 (R01.10.16実施) 公開授業：愛野小学校 ・小学校(6年生)における外国語活動授業公開及び授業反省会 ・県教委指導主事による指導助言及び講義</p> <p>○研究指定事業 ・土黒小をR1・R2年の研究指定校とした。 ・小浜小と国見中はH30からの指定で、R1に研究発表会を行い、市内外より多くの教職員が参加した。(小浜小：69名、国見中：73名) ・各校に対して、指導主事が適宜助言を行った。</p> <p>○学力調査事業 ・令和元年12月19日に実施した。対象学年を小学2年～中学2年とし、国・県調査で確認することができない学年も含め実施することで本市児童生徒の学力を把握する新たな検証軸としている。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>* H31全国学力・学習状況調査結果【小6・中3】 () は全国平均正答率との差</p> <p>小学校 国語 64.7 (+0.9) 算数 65.0 (-1.6)</p> <p>中学校 国語 71.6 (-1.2) 数学 61.2 (+1.4) 英語 52.2 (-3.8)</p> <p>小学校では国語、中学校では数学が、全国平均を上回っている。一方で、小学校算数と中学校国語は全国平均を下回っている。課題の一つとして、読解力不足が挙げられており、今後、読解力の育成が学力向上の一つの鍵となる。全国学力調査英語が初めて実施されたが、本市は国の平均を大きく下回り、英語の学力向上は大きな課題である。</p> <p>* H31県学力調査結果【小5・中2】 () は県平均正答率との差</p> <p>小学校 国語 63.2 (+5.1) 算数 67.3 (+6.7) 理科 55.8 (+0.7)</p> <p>中学校 国語 66.6 (+0.9) 数学 58.3 (+0.7)</p> <p>本市児童生徒の県学力調査の正答率は、小学校においては県下で上位に位置している。特に算数においては県内21市町中1位という好結果であった。中学校においては、国語は県平均を下回っていたが、数学では県平均に達した。</p> </div>		
評価検証及び課題	<ul style="list-style-type: none"> ・上記取組により、学力調査への市内25校教員の学力向上に対する意識は向上している。特に「学力＝読み書きそろばん」だけでなく、「学力＝習得した知識・技能を活用して様々な課題に対処する力」への意識改革が多く为学校で図られてきた。 ・令和元年度から県が行っている学力向上に係る学校訪問が3か年に渡って実施されるため、県と連携を取りながら1校1校の学力向上に向けた取組を一層推進する。 		
自己評価	B	<p>A：計画を上回って進捗 B：計画どおり進捗 C：一部課題はあるが概ね計画どおり進捗 D：計画が全体的に遅れ E：計画に大幅な遅れ又は見直しが必要</p>	
次年度以降の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・前年度の取組を引き続き実施し、各校における学力向上を図っていく。 ・新学習指導要領の全面実施(小)、移行年度(中)に合わせて、適切な指導を行う。 ・学力向上に係る学校訪問により、該当校への適切な指導助言を行い、学力向上を目指す。 		

基本方針	学校教育の充実	主要施策 2	豊かな心を育む教育の推進
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> 全小学校で学校間交流学習を実施する。 【小学校における学校間交流（H26）15校 → （H32）20校】※H31から18校 いじめの問題ゼロを目指す。 【小学校いじめ認知件数（H26）17件 → （H32）0件】 【中学校いじめ認知件数（H26）5件 → （H32）0件】 		
元年度の取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ○ 道徳・人権教育の充実 道徳の教科化（特別の教科 道徳）による取組を推進した。 【研修会】 独立行政法人教職員支援機構主催「道徳教育指導者養成研修（九州・沖縄ブロック）」への参加（教諭1名） 県教育庁主催「道徳教育パワーアップ研究協議会」への参加（指導主事1名・教諭2名） ○ 小学校間交流学習の推進 宿泊体験学習や修学旅行などを合同で行うことにより、他校児童との交流を深めるとともに、活動費における保護者負担を軽減した。 （H31）17校実施。（社会科見学、理科の合同学習なども実施） ○ 雲仙市子どもの心を見つめる教育週間 保護者や地域住民による授業参観や交流を通して、児童生徒の健やかな成長を図ることを目的として実施した。 【実施期間】 5月から7月の間の一週間 【関係者】 学校訪問者（2,892名） 企画や運営、ゲストティーチャー、安全対策等にかかわった保護者や地域住民（556名） ○ 「いじめを許さない学校」づくり 各学校のいじめ防止対策委員会等の開催を通して、多くの目によるいじめの未然防止、早期発見、早期対応に努めた。 【研修会】 年2回実施（各学校教頭、生徒指導主事・生活指導主任対象） 【雲仙市いじめ防止アンケートの実施】 市内全小・中学校において「教育週間」中あるいは前に実施した。 【いじめの認知件数】 1学期・・・199件 2学期・・・169件 3学期・・・40件 ○ ジオパーク学習への取組 ジオパークと関連した学習を通し、郷土の自然の美しさや災害への対応、人々の生活の様子を知ること、豊かな情操を育むことを目的とした。 （例）ジオパーク見学活動、雲仙子どもガイド、災害学習など 		
評価検証及び課題	<ul style="list-style-type: none"> 小学校における「特別の教科 道徳」の全面実施により、学校訪問時の特定授業を指示するなど、授業研究や評価の具体的研修を推進した。 いじめの認知件数では、「いじめの定義」の定着により、より多くのいじめが認知されるようになった。目標ではゼロをめざしているが、早期に解決し、いじめ見逃しをゼロをめざすに切り替える。 		
自己評価	B	A：計画を上回って進捗 B：計画どおり進捗 C：一部課題はあるが概ね計画どおり進捗 D：計画が全体的に遅れ E：計画に大幅な遅れ又は見直しが必要	
次年度以降の取組	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度は、大塚小学校で市及び県指定の道徳科の研究発表会を開催予定であるので、市内全ての小・中学校からの参加を指示し、一層の授業改善を図っていく。 各学校のいじめ防止対策委員会に外部委員を必ず設定するなど、いじめ見逃しゼロ及び早期対応を図っていく。 小学校間交流学習については、学校数の減少を考慮しながらより効果的な実施を推進する。 		

基本方針	学校教育の充実	主要施策 3	学校体育の推進													
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年度、全小・中学校において「体力向上アクションプラン」を作成し、体力・運動能力テストにおいて、小5・中2で全国平均値を3種目以上上回る。 【小学校5年男子（H27）全国平均<6種目 → （H32）全国平均<7種目】 【小学校5年女子（H27）全国平均<5種目 → （H32）全国平均<7種目】 【中学校2年男子（H27）全国平均<2種目 → （H32）全国平均<4種目】 【中学校2年女子（H27）全国平均<4種目 → （H32）全国平均<6種目】 															
元年度の取組状況	<p>○体力向上アクションプラン</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の体力の状況は、概ね良好である。また、体力合計点の判定がD・Eの児童生徒や1週間の総運動時間が0分の児童生徒等に対し、運動の習慣化や運動量の確保など各校の実態に応じて努めている。 ・「ジャックナイフストレッチ」を授業の準備運動として積極的に活用し、また、各校の課題に応じた体力の向上を図り、バランスのとれた体力の向上を目指している。 ・運動と健康との関連から、学校保健委員会等で基本的な生活習慣の確立や運動習慣の改善のための課題を、家庭と共有している。 <p>*R1 新体力テスト結果</p> <table border="1" data-bbox="261 1048 1310 1576"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>全国平均を上回った種目</th> <th>全国平均を下回った種目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">小5</td> <td>男子 握力、反復横跳び、20mシャトルラン、50m走、ソフトボール投げ (5種目)</td> <td>上体起こし、長座体前屈、立ち幅跳び (3種目)</td> </tr> <tr> <td>女子 握力、上体起こし、反復横跳び、20mシャトルラン、50m走、ソフトボール投げ (6種目)</td> <td>長座体前屈、立ち幅跳び (2種目)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">中2</td> <td>男子 握力、上体起こし、反復横跳び、持久走 (4種目)</td> <td>長座体前屈、50m走、立ち幅跳び、ハンドボール投げ (4種目)</td> </tr> <tr> <td>女子 握力、上体起こし、反復横跳び、持久走、50m走、立ち幅跳び、ハンドボール投げ (7種目)</td> <td>長座体前屈 (1種目)</td> </tr> </tbody> </table> <p>○長崎県体力向上支援等事業や武道等指導充実・資質向上支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小・中学校の体育・保健体育科担当を中心に、積極的な活用及び参加を促した。 			学年	全国平均を上回った種目	全国平均を下回った種目	小5	男子 握力、反復横跳び、20mシャトルラン、50m走、ソフトボール投げ (5種目)	上体起こし、長座体前屈、立ち幅跳び (3種目)	女子 握力、上体起こし、反復横跳び、20mシャトルラン、50m走、ソフトボール投げ (6種目)	長座体前屈、立ち幅跳び (2種目)	中2	男子 握力、上体起こし、反復横跳び、持久走 (4種目)	長座体前屈、50m走、立ち幅跳び、ハンドボール投げ (4種目)	女子 握力、上体起こし、反復横跳び、持久走、50m走、立ち幅跳び、ハンドボール投げ (7種目)	長座体前屈 (1種目)
学年	全国平均を上回った種目	全国平均を下回った種目														
小5	男子 握力、反復横跳び、20mシャトルラン、50m走、ソフトボール投げ (5種目)	上体起こし、長座体前屈、立ち幅跳び (3種目)														
	女子 握力、上体起こし、反復横跳び、20mシャトルラン、50m走、ソフトボール投げ (6種目)	長座体前屈、立ち幅跳び (2種目)														
中2	男子 握力、上体起こし、反復横跳び、持久走 (4種目)	長座体前屈、50m走、立ち幅跳び、ハンドボール投げ (4種目)														
	女子 握力、上体起こし、反復横跳び、持久走、50m走、立ち幅跳び、ハンドボール投げ (7種目)	長座体前屈 (1種目)														
評価検証及び課題	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の体力は全国平均と比較すると、小・中学校ともに良好である。課題は、長座体前屈（柔軟性）である。今後、「体力向上アクションプラン」の実践を通して、柔軟性の向上と各校の課題に応じたバランスの良い体力の向上を展開していく必要がある。 ・部活動における適切な休養日等について、「雲仙市立学校の部活動等に係る活動方針」に基づき、適切な部活動等の推進及びその徹底を図る。 															
自己評価	<p>C</p> <p>A：計画を上回って進捗 B：計画どおり進捗 C：一部課題はあるが概ね計画どおり進捗 D：計画が全体的に遅れ E：計画に大幅な遅れ又は見直しが必要</p>															
次年度以降の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・各校の実態に即したバランスの良い体力の向上及び、市の課題である柔軟性の向上のために、授業の準備運動等にストレッチ運動（ジャックナイフストレッチ等）を位置付ける。 ・適切な部活動等の推進及びその徹底を図る。 ・ラジオ体操を推進する。 															

基本方針	学校教育の充実	主要施策 4	健康安全教育の推進								
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> 全小学校でフッ化物洗口を実施し、一人あたりのう歯率を減少させる。 【小学校6年児童（H26）1.45本 → （H32）0.8本以下】 毎年度、各学校で通学路安全点検を実施し、危険箇所対応を継続する。 										
元年度の取組状況	<p>○ フッ化物洗口事業 全小学校で100%実施。中学校は7校中3校実施。令和2年度の完全実施（1学期中）に向け、雲仙市校長・教頭研修会や養護教諭研修会等において、中学校における実施率の向上を指導している。</p> <p>島原南高歯科医師会実態調査結果 【一人平均う歯数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校（H30）0.7本 → （R1）0.5本 ・小6（H30）1.3本 → （R1）1.0本 ・中学校（H30）2.4本 → （R1）2.2本 <p>○ 通学路の安全確保 通学路の安全確保のために、平成24年度から各学校に安全点検を行い、関係機関と連携し、順次対策を講じた。</p> <p>【合同点検】 1回</p> <p>○ 小中学生の交通事故件数</p> <table border="1" data-bbox="268 1238 660 1317"> <tr> <td>H28</td> <td>H29</td> <td>H30</td> <td>R1</td> </tr> <tr> <td>9件</td> <td>11件</td> <td>6件</td> <td>4件</td> </tr> </table>			H28	H29	H30	R1	9件	11件	6件	4件
H28	H29	H30	R1								
9件	11件	6件	4件								
評価検証及び課題	<ul style="list-style-type: none"> 小学校におけるフッ化物洗口に対する取組は良好である。今後も適切な取組を推進していくとともに、中学校におけるフッ化物洗口事業推進を図りたい。 通学路については、予算等の兼ね合いもありハード面については、対応に時間がかかるが、計画的に対応を講じていくよう関係機関に働きかけをしていきたい。また、学校には、ハード面の対策が講じられるまでは、ソフト面で児童生徒の安全確保に努めるようさらに指導していきたい。 										
C	<p>A：計画を上回って進捗 B：計画どおり進捗 C：一部課題はあるが概ね計画どおり進捗 D：計画が全体的に遅れ E：計画に大幅な遅れ又は見直しが必要</p>										
次年度以降の取組	<ul style="list-style-type: none"> 中学校へのフッ化物洗口実施に向けた取組を推進していく。 通学路については、「雲仙市通学路交通安全プログラム」の見直しを図りながら、関係部局・機関と連携して対応していく。 										

基本方針	学校教育の充実	主要施策 5	特別支援教育の推進																																																																																
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> ・障害のある児童生徒の実態に応じた特別支援学級を設置する。 ・全小・中学校へのスクールサポーターの配置を継続する。 																																																																																		
元年度の取組状況	○特別支援学級・通級指導教室の設置 【特別支援学級の設置】																																																																																		
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">学級種別</th> <th colspan="4">小学校</th> <th colspan="4">中学校</th> </tr> <tr> <th>学級数</th> <th>前年度比</th> <th>人数</th> <th>前年度比</th> <th>学級数</th> <th>前年度比</th> <th>人数</th> <th>前年度比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>知的障害</td> <td>13</td> <td>+1</td> <td>25</td> <td>+3</td> <td>6</td> <td>+2</td> <td>13</td> <td>-1</td> </tr> <tr> <td>自閉症・情緒障害</td> <td>10</td> <td>+4</td> <td>19</td> <td>+4</td> <td>4</td> <td>-1</td> <td>5</td> <td>-2</td> </tr> <tr> <td>肢体不自由</td> <td>2</td> <td>-1</td> <td>3</td> <td>-1</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>言語障害</td> <td>3</td> <td>+2</td> <td>5</td> <td>+2</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>病弱</td> <td>2</td> <td>+1</td> <td>2</td> <td>+1</td> <td>1</td> <td>+1</td> <td>1</td> <td>+1</td> </tr> <tr> <td>弱視</td> <td>1</td> <td>+1</td> <td>1</td> <td>+1</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>31</td> <td>+8</td> <td>55</td> <td>+10</td> <td>11</td> <td>+2</td> <td>19</td> <td>-2</td> </tr> </tbody> </table>			学級種別	小学校				中学校				学級数	前年度比	人数	前年度比	学級数	前年度比	人数	前年度比	知的障害	13	+1	25	+3	6	+2	13	-1	自閉症・情緒障害	10	+4	19	+4	4	-1	5	-2	肢体不自由	2	-1	3	-1	0	0	0	0	言語障害	3	+2	5	+2	0	0	0	0	病弱	2	+1	2	+1	1	+1	1	+1	弱視	1	+1	1	+1	0	0	0	0	合計	31	+8	55	+10	11	+2	19	-2
	学級種別	小学校				中学校																																																																													
		学級数	前年度比	人数	前年度比	学級数	前年度比	人数	前年度比																																																																										
知的障害	13	+1	25	+3	6	+2	13	-1																																																																											
自閉症・情緒障害	10	+4	19	+4	4	-1	5	-2																																																																											
肢体不自由	2	-1	3	-1	0	0	0	0																																																																											
言語障害	3	+2	5	+2	0	0	0	0																																																																											
病弱	2	+1	2	+1	1	+1	1	+1																																																																											
弱視	1	+1	1	+1	0	0	0	0																																																																											
合計	31	+8	55	+10	11	+2	19	-2																																																																											
【通級指導教室の設置】 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="5">小学校</th> </tr> <tr> <th>学級種別</th> <th>教室数</th> <th>前年度比</th> <th>人数</th> <th>前年度比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>LD・ADHD等</td> <td>4</td> <td>0</td> <td>44</td> <td>+3</td> </tr> </tbody> </table>			小学校					学級種別	教室数	前年度比	人数	前年度比	LD・ADHD等	4	0	44	+3																																																																		
小学校																																																																																			
学級種別	教室数	前年度比	人数	前年度比																																																																															
LD・ADHD等	4	0	44	+3																																																																															
※LDとは、全般的な知的発達に遅れはないが、聞く、話す、読む、書く、計算する又は推論する能力のうち、特定のものの習得と使用に著しい困難を示すもの ※ADHDとは、年齢又は発達に不釣り合いな注意力、又は衝動性・多動性が認められ、社会的な活動や学校生活を営む上で著しい困難を示すもの																																																																																			
○スクールサポーター配置事業 配置27名〔小学校20名(2名配置2校)、中学校7名(2名配置校無し)〕 【活動内容及び実績(年間)】																																																																																			
①授業支援 <table border="1"> <tr> <td>小</td> <td>平均支援時間 (1日あたりの支援時間)</td> <td>514.7時間 (2.8時間)</td> </tr> <tr> <td>中</td> <td>平均支援時間 (1日あたりの支援時間)</td> <td>209.1時間 (1.1時間)</td> </tr> </table>		小	平均支援時間 (1日あたりの支援時間)	514.7時間 (2.8時間)	中	平均支援時間 (1日あたりの支援時間)	209.1時間 (1.1時間)	④図書貸し出し冊数 <table border="1"> <tr> <td>小</td> <td>年間貸し出し冊数 (1人あたりの貸し出し冊数)</td> <td>357,492冊 161冊</td> </tr> <tr> <td>中</td> <td>年間貸し出し冊数 (1人あたりの貸し出し冊数)</td> <td>41,847冊 42冊</td> </tr> </table>		小	年間貸し出し冊数 (1人あたりの貸し出し冊数)	357,492冊 161冊	中	年間貸し出し冊数 (1人あたりの貸し出し冊数)	41,847冊 42冊																																																																				
小	平均支援時間 (1日あたりの支援時間)	514.7時間 (2.8時間)																																																																																	
中	平均支援時間 (1日あたりの支援時間)	209.1時間 (1.1時間)																																																																																	
小	年間貸し出し冊数 (1人あたりの貸し出し冊数)	357,492冊 161冊																																																																																	
中	年間貸し出し冊数 (1人あたりの貸し出し冊数)	41,847冊 42冊																																																																																	
②別室登校生徒学習支援 <table border="1"> <tr> <td>中</td> <td>平均支援時間 (1日あたりの支援時間)</td> <td>0.5時間 (0.01時間)</td> </tr> </table>		中	平均支援時間 (1日あたりの支援時間)	0.5時間 (0.01時間)	③教育相談 <table border="1"> <tr> <td>中</td> <td>平均相談回数 (1日あたりの相談回数)</td> <td>91.0回 (0.5回)</td> </tr> </table>		中	平均相談回数 (1日あたりの相談回数)	91.0回 (0.5回)																																																																										
中	平均支援時間 (1日あたりの支援時間)	0.5時間 (0.01時間)																																																																																	
中	平均相談回数 (1日あたりの相談回数)	91.0回 (0.5回)																																																																																	
評価検証及び課題	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育では、児童生徒の実態を第一に考え、必要な学級を設置することができている。今後さらに児童生徒、保護者、指導者、関係機関との連携を図り、効果的な教育を推進していく。 ・スクールサポーター事業では、学習支援や教育相談、図書司書業務など概ね有効活用が図られている。一方、年度開始時から必要人数に達せず、広報誌等を通じた募集を実施し、予定数の配置が出来るようにした。 																																																																																		
自己評価	B A：計画を上回って進捗 B：計画どおり進捗 C：一部課題はあるが概ね計画どおり進捗 D：計画が全体的に遅れ E：計画に大幅な遅れ又は見直しが必要																																																																																		
次年度以降の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育については、特別支援学級や通級指導教室の設置のみではなく、通常学級に在籍する児童生徒に対しても効果的な教育課程の編成や個別の支援計画、指導計画の作成が図られるようにしていくとともに、特別支援学級担任及び通級指導教室担当者の指導力の向上を図っていく。また、連携機関との関係をさらに深めたい。 ・スクールサポーター事業では、各学校の状況を適確に把握し、効果的な複数配置を推進する。 																																																																																		

基本方針	学校教育の充実	主要施策 6	教育相談事業の推進																															
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> 不登校、学校生活不適應児童生徒や保護者に対して、学校や関係機関との連携を通して、訪問指導や相談などの直接的支援を充実する。 <p>【不登校児童生徒数（H26）14人 → （H32）10人未満】</p>																																	
元年度の取組状況	<p>○ 児童生徒サポートセンター事業</p> <p>学校不適應児童生徒等や本人または家庭に問題を抱えている児童生徒等に対して、学校、関係機関等と連携しながら、訪問指導、面談などの直接的な支援活動を行い、学校復帰や本人または家庭の問題解消を目指した。</p> <p>【訪問指導員の配置】 1名（2,022千円）</p> <p>【スクールソーシャルワーカー（SSW）の配置】 1名（県教委からの派遣）</p> <table border="1" data-bbox="268 790 1487 907"> <thead> <tr> <th></th> <th>対応児童生徒人数</th> <th>学校訪問</th> <th>家庭訪問</th> <th>個別指導</th> <th>ケース（ケア）会議</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>訪問指導員</td> <td>18名</td> <td>80回</td> <td>113回</td> <td>271回</td> <td>4（11）回</td> </tr> <tr> <td>SSW</td> <td>17名</td> <td>67回</td> <td>46回</td> <td>39回</td> <td>15（5）回</td> </tr> </tbody> </table>						対応児童生徒人数	学校訪問	家庭訪問	個別指導	ケース（ケア）会議	訪問指導員	18名	80回	113回	271回	4（11）回	SSW	17名	67回	46回	39回	15（5）回											
		対応児童生徒人数	学校訪問	家庭訪問	個別指導	ケース（ケア）会議																												
	訪問指導員	18名	80回	113回	271回	4（11）回																												
	SSW	17名	67回	46回	39回	15（5）回																												
<p>○ 親子ホットライン事業</p> <p>子どものいじめ・不登校問題をはじめとする、種々の教育相談に対応することを目的とした。</p> <p>【電話料金】 1台（42千円） 【相談回数】 保護者（2回）</p> <p>*雲仙市不登校児童生徒数</p> <table border="1" data-bbox="268 1169 1284 1361"> <thead> <tr> <th></th> <th>小学校</th> <th>(県)</th> <th>中学校</th> <th>(県)</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28年度</td> <td>2名(0.1%)</td> <td>0.5%</td> <td>21名(1.7%)</td> <td>3.5%</td> <td>23名(0.8%)</td> </tr> <tr> <td>H29年度</td> <td>1名(0.04%)</td> <td>0.5%</td> <td>28名(2.5%)</td> <td>3.0%</td> <td>29名(0.9%)</td> </tr> <tr> <td>H30年度</td> <td>5名(0.2%)</td> <td>0.6%</td> <td>24名(2.2%)</td> <td>3.3%</td> <td>29名(0.9%)</td> </tr> <tr> <td>R01年度</td> <td>4名(0.2%)</td> <td></td> <td>24名(2.3%)</td> <td></td> <td>28名(0.9%)</td> </tr> </tbody> </table> <p>(R01年度については速報値であり、県の集計は未公表)</p> <p>※不登校とは、何らかの心理的、情緒的、身体的、あるいは社会的要因・背景により、児童生徒が登校しないあるいはしたくてもできない状況にある者（ただし、「病気」や「経済的理由」による者を除く。）で、年間連続又は断続して30日以上欠席した児童生徒。</p>						小学校	(県)	中学校	(県)	計	H28年度	2名(0.1%)	0.5%	21名(1.7%)	3.5%	23名(0.8%)	H29年度	1名(0.04%)	0.5%	28名(2.5%)	3.0%	29名(0.9%)	H30年度	5名(0.2%)	0.6%	24名(2.2%)	3.3%	29名(0.9%)	R01年度	4名(0.2%)		24名(2.3%)		28名(0.9%)
	小学校	(県)	中学校	(県)	計																													
H28年度	2名(0.1%)	0.5%	21名(1.7%)	3.5%	23名(0.8%)																													
H29年度	1名(0.04%)	0.5%	28名(2.5%)	3.0%	29名(0.9%)																													
H30年度	5名(0.2%)	0.6%	24名(2.2%)	3.3%	29名(0.9%)																													
R01年度	4名(0.2%)		24名(2.3%)		28名(0.9%)																													
評価検証及び課題	<ul style="list-style-type: none"> 訪問型の対応で、学校不適應児童生徒に細やかに対応できている。また、平成29年8月に千々石庁舎2階に設置した児童生徒サポートセンター相談室の活用も継続している。 全小・中学校への事業説明を毎年丁寧に行い、少しでも支援の必要な児童生徒への素早い対応ができるよう態勢を整えている。 																																	
自己評価	<p>B A：計画を上回って進捗 B：計画どおり進捗 C：一部課題はあるが概ね計画どおり進捗 D：計画が全体的に遅れ E：計画に大幅な遅れ又は見直しが必要</p>																																	
次年度以降の取組	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年度から実施している児童生徒サポートセンター相談室利用生徒等による交流活動を継続する。また、不登校児童生徒及びその保護者を対象とした講演会等の紹介など、幅広い対応を実践する。 学校や関係機関との連携し、学校不適應児童生徒への早期対応を徹底していく。 																																	

基本方針	学校教育の充実	主要施策 7	国際理解教育の推進												
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校においては、新学習指導要領実施に伴う外国語学習へのスムーズな移行を図る。 ・中学校においては、県学力調査（英語）の県平均正答率を上回る。 【県学力調査（中2英語）（H27）県比-4.8 → （H32）県平均】														
元年度の取組状況	<p>○ALT配置事業 児童生徒の外国語によるコミュニケーション能力の向上をめざすとともに、豊かな国際性を身に付けさせるために、外国語指導の補助等を行う外国語指導助手（ALT）のさらなる効果的な活用を図る。</p> <p>【配置状況】 全小中学校を地域ごとに7ブロックに分け、7名のALTを拠点校（全中学校）に配置し、全小学校へ派遣した。</p> <p>【授業での活用状況】※令和元年度分調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校3・4・5・6年生外国語活動（18校） ALT活用授業時数（2,852時間） ※各学級週1時間の割合 ・中学校英語（7校） ALT活用授業時数（1,750時間） ※各学校週1時間の割合 <p>○英語教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市教育委員会主催の学力向上対策研修会を「外国語活動・英語の指導法等」に特化し、研修を行う場を確保した。 ・指導経験や日本語による会話の差が大きい市内ALTに対して、2か月に1回の割合で会議を開き、学習指導法や喫緊の課題とその対策について情報交換を行った。 <p>*県学力調査結果（中3英語）</p> <table border="1" data-bbox="300 1283 858 1435"> <thead> <tr> <th colspan="2">3年間の推移</th> <th>県平均との差</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28年度</td> <td>60.4</td> <td>-2.7</td> </tr> <tr> <td>H29年度</td> <td>40.2</td> <td>-3.8</td> </tr> <tr> <td>H30年度</td> <td>49.2</td> <td>-3.9</td> </tr> </tbody> </table> <p>※H31年度は全国学力調査で英語を実施するため、県学力調査（英語）は無し 全国（英語） 雲仙市 52.2（国より-3.8）</p>			3年間の推移		県平均との差	H28年度	60.4	-2.7	H29年度	40.2	-3.8	H30年度	49.2	-3.9
3年間の推移		県平均との差													
H28年度	60.4	-2.7													
H29年度	40.2	-3.8													
H30年度	49.2	-3.9													
評価検証及び課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ALT配置事業については、小学校第3学年から外国語活動が始まり、児童が早期から英語の発音に慣れ親しみ、英語によるコミュニケーション力向上への効果が期待できる。また、全中学校へ配置ができたことにより、授業自体をコミュニケーションの場となるような環境づくりができています。 ・小学校3・4年の外国語活動（週1時間）、5・6年の外国語科（週2時間）への対応と、小・中での連携、ALTや英語専科の活用、教員の指導力向上などが課題となる。 														
自己評価	C	A：計画を上回って進捗 B：計画どおり進捗 C：一部課題はあるが概ね計画どおり進捗 D：計画が全体的に遅れ E：計画に大幅な遅れ又は見直しが必要													
次年度以降の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・上記取組により、学力調査への市内25校教員の学力向上に対する意識は向上している。特に「学力＝読み書きそろばん」だけでなく、「学力＝習得した知識・技能を活用して様々な課題に対処する力」への意識改革が多くの学校で図られてきた。 ・令和元年度から県が行っている学力向上に係る学校訪問が3か年に渡って実施されるため、県と連携を取りながら1校1校の学力向上に向けた取組を一層推進する。 														

基本方針	学校教育の充実	主要施策 8	安全・安心な学校給食の提供と食育の推進																
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> ・全小・中学校の全学年で栄養教諭による食育授業と給食指導を実施する。 ・食育指導を充実させ、給食の残菜量を減らす。 【給食残菜量（H26）277.1kg/月 → （H32）50.0kg/月】 ・平成29年度までに、2つの学校給食センターへ統合する。 																		
元年度の取組状況	<p>○食育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食育の日（毎月19日）や食育月間（6月1日～6月30日）を各校に周知し、学校教育活動全体を通じた食育を推進した。 ・学校給食研究会（栄養士部会）の研修（4回）、雲仙市食育ブロック推進会議を開催（2回）し、情報交換及び協議を行った。 <p>○学校給食センター施設の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成29年9月1日に3学校給食センターを2学校給食センターに統合し、統合後の学校給食センター運営をスムーズに進めることができた。 <p>○学校給食実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2給食センターで、雲仙市内すべての小・中学校（小学校18校・中学校7校）に完全給食を実施した。 ・給食実施回数：週5日（米飯4回、パン1回）、年間198日 ・給食実施数：小学校2,197人、中学校1,069人、教職員420人、給食センター67人 合計3,753人 ・給食費：小学校月額4,300円（1食単価240円） 中学校月額5,000円（1食単価280円） <p>*給食残菜量</p> <table border="1" data-bbox="295 1400 1340 1568"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>小学校</th> <th>中学校</th> <th>全体</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H29</td> <td>142.0kg/月</td> <td>21.0kg/月</td> <td>163.0kg/月（児童生徒一人当たり43g/月）</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>126.6kg/月</td> <td>11.9kg/月</td> <td>138.5kg/月（児童生徒一人当たり38g/月）</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>138.4kg/月</td> <td>21.7kg/月</td> <td>160.1kg/月（児童生徒一人当たり44g/月）</td> </tr> </tbody> </table>			年度	小学校	中学校	全体	H29	142.0kg/月	21.0kg/月	163.0kg/月（児童生徒一人当たり43g/月）	H30	126.6kg/月	11.9kg/月	138.5kg/月（児童生徒一人当たり38g/月）	R1	138.4kg/月	21.7kg/月	160.1kg/月（児童生徒一人当たり44g/月）
年度	小学校	中学校	全体																
H29	142.0kg/月	21.0kg/月	163.0kg/月（児童生徒一人当たり43g/月）																
H30	126.6kg/月	11.9kg/月	138.5kg/月（児童生徒一人当たり38g/月）																
R1	138.4kg/月	21.7kg/月	160.1kg/月（児童生徒一人当たり44g/月）																
評価検証及び課題	<ul style="list-style-type: none"> ・感染性胃腸炎（ノロウイルス）対応マニュアル及び異物混入・食中毒マニュアルを再点検し、各小・中学校に配布した。 ・平成29年9月1日に、3学校給食センターを2学校給食センターに統合し、統合後の学校給食センター運営をスムーズに進めることができた。 ・給食残菜量については、管理職研修会等で市内の現状を説明するとともに、食育指導との関連を考慮しながら各学校で削減に取り組むよう指導した。 																		
自己評価	B	A：計画を上回って進捗 B：計画どおり進捗 C：一部課題はあるが概ね計画どおり進捗 D：計画が全体的に遅れ E：計画に大幅な遅れ又は見直しが必要																	
次年度以降の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・2つの学校給食センター（南部・国見）で完全給食を実施していく。 ・今後も食育指導を推進し、給食残菜量を減少させていく。 ・長崎県食物アレルギー管理システムの導入について研究していく。 																		

(3) 生涯学習の推進

点検評価シート

担当課 生涯学習課

基本方針	生涯学習の推進	主要施策 1	青少年の健全育成の推進
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> 市内各地区で「少年の主張大会」や「見守り活動」等の活動を展開し、青少年健全育成活動の大切さや「ココロねっこ運動」、「家庭の日」の周知を図る。 小中学校入学説明会・雲仙市青少年健全育成協議会・保育園等でメディアの安全指導に関する講演会や指導講習会を開催し、正しい利用の仕方の啓発を進める。 <p>【(H26)4回→(H32)目標35回】</p>		
元年度の取組状況	<p>○「少年の主張大会の開催」 「少年の主張大会」を、市及び各地区において開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「市少年の主張 吾妻地区大会」 10月19日 吾妻町ふるさと会館 「愛野町少年の主張大会」 10月27日 愛野小体育館 「市少年の主張 小浜大会」 10月27日 小浜公会堂 「千々石町少年の主張大会」 11月10日 千々石町公民館 「少年の主張 南串山大会」 11月11日 ハマユリックスホール 「市少年の主張大会」 12月 1日 千々石町公民館 「国見町青少年の主張大会」 2月 3日 国見町文化会館 <p>○「ココロねっこ運動」「家庭の日」の啓発・推進</p> <ul style="list-style-type: none"> イベント、大会での周知のほか、各町『公民館だより』による広報活動を行った。 市民運動会にて、家庭教育7か条を取り入れた種目を新たに設け啓発を行った。 <p>○メディア機器の安全使用に係る啓発 メディアにかかる事件事故、健康被害等を未然に防ぎ、メディアを安全快適に活用する社会を形成するため、メディア安全指導を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 市立小・中学校の新入学児童生徒保護者説明会時のメディア安全講話の開催 23回 PTAなどを対象としたメディア安全講話の開催 3回 PTAと協働したメディア安全啓発にかかる市統一ルールリーフレットの配布 <p>○立入調査や白ポスト設置による有害環境への適切な対応 立入調査については、年2回、市内コンビニエンスストア・ドラッグストア、携帯ショップ等への調査を行った。</p> <p>7月…13箇所（「青少年の非行・被害防止全国強調月間」「ココロねっこ運動強調月間」） 11月14箇所（「子ども・若者育成支援強調月間」）</p>		
評価検証及び課題	<ul style="list-style-type: none"> 市青少協と市子連を統合し「雲仙市青少年・子ども育成会議」を設立した。 「ココロねっこ運動」や「家庭の日」の啓発、推進については、広報紙での周知の他、公民館だよりに毎号掲載するなど周知に努めた。少年の主張大会は、計画どおり開催した。家庭教育7か条啓発のためクリアファイルを作成しへ全小中学校へ配布した。 メディア接触やメディア所持の低年齢化の現状を受け、子どもを取り巻くメディア環境への安全指導を実施した。今後は幼年期保護者も対象に広げ実施していく必要がある。 		
自己評価	B	A：計画を上回って進捗 B：計画どおり進捗 C：一部課題はあるが概ね計画どおり進捗 D：計画が全体的に遅れ E：計画に大幅な遅れ又は見直しが必要	
次年度以降の取組	<ul style="list-style-type: none"> 「雲仙市青少年・子ども育成会議」における、市青少協、市子連の連携強化を図り、子どもたちの育成に取り組み、地域の教育力を高める。 市PTA連合会と協力し、子どもたちのメディア機器へのかかわりに関する実態調査の結果を踏まえ、課題に即した啓発活動を行う。 		

基本方針	生涯学習の推進	主要施策 2	読書環境の充実
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> ・全市民に年1度は図書館（室）を利用してもらうことを目標に、平成32年までに図書館等の利用者数、貸出冊数を増やす。 【利用者数（H26） 40,347人 → 目標（H32） 47,000人】 【貸出冊数（H26） 178,791冊 → 目標（H32） 235,000冊】 		
元年度の取組状況	<p>○読書推進イベント 「読書週間」「子どもの読書の日」等の機会を捉えて、読書スタンプラリー等のイベントを企画し、読書啓発活動を推進した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おはなし会（各地区、毎月） ・4月23日～5月12日 こどもの読書週間イベント（各図書館・図書室） ・5月25日 雲仙市図書館15周年イベント（雲仙市図書館） ・夏休みイベント（雲仙市図書館、小浜町文化館） ・10月27日～11月9日 読書週間イベント（各図書館・図書室） ・12月1日 愛野図書室開館（開館記念イベント実施） ・2月15日～2月16日 雲仙市としょかんまつり（雲仙市図書館） <p>○赤ちゃんとはじめての絵本応援事業 赤ちゃん相談の際、市民ボランティアを通して絵本等を手渡す「ブックスタート」活動により、市民の子育て支援や子どもの読書活動の推進を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ブックスタート（赤ちゃんと保護者が楽しいひとときを持つきっかけ作り） ブックスタート・バック（絵本・バッグ・おすすめ絵本リスト等）配布数257人 ・赤ちゃん向けおはなし会の開始（小浜町文化館、毎月） ・図書館職員による「おはなしのへや」 おはなしかい★ぴよぴよ <p>*図書館（室）の利用状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・蔵書数 210,784冊 ・貸出冊数 211,492冊 ・利用者数 43,594人 ・図書購入数 42,946冊 ・移動図書 54箇所 <p>○図書館キャラクターの活用 雲仙市図書館キャラクター「ラブックン」を広報やイベント景品に積極的に活用し、親しみやすい図書館づくりに努めた。</p>		
評価検証及び課題	<ul style="list-style-type: none"> ・年間を通じて読書推進イベントを開催し、読書活動の推進に努めたが、愛野図書室を除き利用者数、貸出冊数とも横ばい、減少傾向にある。 ・スマートフォン等の普及により活字離れが進むことが予想されることから、蔵書の充実と情報発信に努め、各種企画を通じて読書に関する理解や関心を高めていく必要がある。 ・移動図書について巡回箇所や貸出方法等の検討を行った。 		
自己評価	C	<p>A：計画を上回って進捗 B：計画どおり進捗 C：一部課題はあるが概ね計画どおり進捗 D：計画が全体的に遅れ E：計画に大幅な遅れ又は見直しが必要</p>	
次年度以降の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館と各公民館図書室の事業実施等における連携強化を進め、市民の誰もが本とふれあうことができる機会を提供する。 		

基本方針	生涯学習の推進	主要施策 3	多様な生涯学習プログラムの実施
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> ・市民のニーズに即した多くの講座を開催し、参加者の増加を図る。 【(H26) 162講座 →目標 (R2) 180講座】 【(H26) 4,326人→目標 (R2) 4,500人】 		
元年度の取組状況	<p>○市民講座の実施 全184講座、延べ4,051人参加 各公民館、年間26講座を目標に学びの実践の場を提供する各種の講座や教室を開催した。参加者にアンケートを取り、講座の評価、今後の企画の参考としている。</p> <p>【対象別】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般成人 86講座 ・小中学生 58講座 ・高齢者 24講座 ・幼児・親子 14講座 ・男女共同参画 2講座 <p>・「いきいき健康セミナー」ほか ・「夏休み子ども教室 サイエンスジオ講座」ほか ・「やさしいスマホ教室」、「認知症予防教室」ほか ・「親子でクッキング！」ほか ・「メンズキッチンこだわりのカレー教室」ほか</p> <p>【ジャンル別】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体験活動 14講座 ・健康づくり 16講座 ・料理 28講座 ・趣味・学習 55講座 ・生活教養 19講座 ・国際交流 13講座 ・読書推進 24講座 ・平和人権 5講座 ・地域交流 3講座 ・子育て 5講座 ・その他 2講座 <p>・「古代体験！まが玉づくり教室」ほか ・「ゆったりヨガでリラックス」ほか ・「郷土料理教室」、「軽羹饅頭づくり教室」ほか ・「暮らしに活かす筆ペン教室」ほか ・「火災予防教室」ほか ・「えいごであそぼ！」ほか ・「夏のおはなし会」ほか ・「平和のフェスタ えほんの読み語り」ほか ・「旅の楽しみ方教室」ほか ・「子育て応援 足育教室」ほか ・「おもちゃ病院」ほか</p> <p>○広報活動 ・広報うんぜん、市ホームページ、自治会回覧「公民館だより」、無線放送 等</p>		
評価検証及び課題	<ul style="list-style-type: none"> ・市民ニーズの把握と多様な講座の企画実施に努め参加者の満足度も高かった。バランスボール運動など、講座から自主サークルに発展した活動もあった。今後、趣味、教養の学習に加え、地域の課題解決や地域づくりに繋がる講座を企画していく必要がある。 ・若者や男性の参加が少ないため、引き続き講座内容や広報の工夫に努める必要がある。 		
自己評価	B	<p>A：計画を上回って進捗 B：計画どおり進捗 C：一部課題はあるが概ね計画どおり進捗 D：計画が全体的に遅れ E：計画に大幅な遅れ又は見直しが必要</p>	
次年度以降の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・少子高齢化や家庭教育支援など、社会全体での取り組みが必要な地域課題に向き合うため、公民館の「つどう・まなぶ・むすぶ」機能を十分に生かし、自治会や自治公民館と協力した地域課題解決型の講座を企画するなど、地域住民の主体的な学びの機会を提供していく。 		

基本方針	生涯学習の推進	主要施策 4	人権啓発活動の推進												
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの人が集まる各種の大会やイベント等の開催時に、人権講演会の開催、チラシの配布等を行い、多くの人に人権について考える機会を設ける。 														
元年度の取組状況	<p>○令和元年度雲仙市人権講演会「瑞宝太鼓『夢大使』講演会」 市内小・中学校において、4講演を実施した。（市主催県補助金活用事業） （対象者：各校児童・生徒、教職員、保護者等）</p> <p>＜開催校・参加者・開催日＞</p> <table border="0"> <tr> <td>第1回：川床小学校</td> <td>40名</td> <td>令和元年12月3日（午前）</td> </tr> <tr> <td>第2回：千々石中学校</td> <td>90名</td> <td>令和元年12月4日（午前）</td> </tr> <tr> <td>第3回：愛野小学校</td> <td>443名</td> <td>令和元年12月4日（午後）</td> </tr> <tr> <td>第4回：多比良小学校</td> <td>140名</td> <td>令和元年12月5日（午前）</td> </tr> </table> <p>＜効果検証結果等＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講演会では、講話、演奏、ワークショップを実施し、効果検証のため、参加児童・生徒からお礼の手紙や感じたことを書いてもらった。 ・小学生は、いじめを受けることの辛い思いを知り、また、障がいがあってもいきいき生活し、活躍される様子から、夢を持ち努力することの大切さを感じている。中学生においては、さらに理解を深め、人権尊重の実践につなげていく気持ちを持って、具体的な取り組み目標を作成している。 ・本市を拠点に活躍する知的障がいを持つ和太鼓集団「瑞宝太鼓」を講師に招くことで、参加者がより身近に障がいのある方への理解を深めたり、それぞれの立場で一生懸命取り組むことの大切さを感じさせることができ、本講演会が人権啓発事業として効果があったものと認められる。 <p>○研修会の開催・参加（県との共同開催） 社会人権・同和教育地区別研修会を開催し、教職員や人権・同和教育指導者をはじめとする市内社会教育関係者の研修機会充実に努めた。（42名参加）</p> <p>○市民講座において、避難所生活における人権をテーマに講座に取り組んだ。（1回）</p>			第1回：川床小学校	40名	令和元年12月3日（午前）	第2回：千々石中学校	90名	令和元年12月4日（午前）	第3回：愛野小学校	443名	令和元年12月4日（午後）	第4回：多比良小学校	140名	令和元年12月5日（午前）
第1回：川床小学校	40名	令和元年12月3日（午前）													
第2回：千々石中学校	90名	令和元年12月4日（午前）													
第3回：愛野小学校	443名	令和元年12月4日（午後）													
第4回：多比良小学校	140名	令和元年12月5日（午前）													
評価検証及び課題	<ul style="list-style-type: none"> ・講演会では、参加児童・生徒からお礼の手紙等が多く寄せられ、その内容から障がいを持たれた方への理解が深まっていることが確認できた。 ・市民が関心を持ちやすい内容やテーマを考慮し、人権啓発に取り組む必要がある。 														
自己評価	C	<p>A：計画を上回って進捗 B：計画どおり進捗 C：一部課題はあるが概ね計画どおり進捗 D：計画が全体的に遅れ E：計画に大幅な遅れ又は見直しが必要</p>													
次年度以降の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続きテーマを絞った講演会を開催することに加え、より多くの市民に人権意識の周知を図ることを目的に、人権週間（12月）にあわせて広報誌に特集を組むなど人権教育を推進する。 														

(4) 文化芸術の振興と歴史の継承

点検評価シート

担当課 生涯学習課

基本方針	文化芸術の振興と歴史の継承	主要施策 1	文化芸術活動の推進																																																
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> 子どもを対象とした文化芸術体験事業及びアウトリーチ事業を開催する。 雲仙市文化連盟を構成する各町文化協会及び雲仙市文化会館自主文化事業振興会を支援し、市民ニーズに応じた市民主体の文化活動の向上を図る。 市内在住の文化芸術における、専門家の発掘及びネットワーク形成を図る。 																																																		
元年度の取組状況	<p>○ 子どもを対象とした文化芸術体験事業（文化庁補助事業） 文化芸術による子どもの育成事業（巡回公演事業）を開催した。</p> <table border="0" data-bbox="284 674 1453 824"> <tr> <td>・土黒小学校</td> <td>9月17日(火)</td> <td>ワークショップ</td> <td>参加者 32人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>10月11日(金)</td> <td>人形劇</td> <td>参加者186人</td> </tr> <tr> <td>・千々石第一小学校</td> <td>10月 9日(水)</td> <td>ワークショップ</td> <td>参加者239人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>12月 4日(水)</td> <td>京都フィルハーモニー室内合奏団</td> <td>参加者299人</td> </tr> </table> <p>○市民主体の文化活動 市民の活発な芸術文化活動を推進するため、雲仙市文化連盟が中心となり市民音楽祭や市美術展覧会等を開催した。</p> <table border="0" data-bbox="284 1010 1406 1077"> <tr> <td>・第13回雲仙市民音楽祭</td> <td>11月24日(日)</td> <td>(愛の夢未来センター)</td> <td>300名</td> </tr> <tr> <td>・第14回雲仙市民美術展覧会</td> <td>2月13日(木)～16(日)</td> <td>(愛の夢未来センター)</td> <td>665名</td> </tr> </table> <p>○雲仙市文化会館自主文化事業振興会主催事業 市民のニーズにあった文化芸術鑑賞機会を充実させるため、雲仙市文化会館自主文化事業振興会による自主文化事業を開催した。</p> <table border="0" data-bbox="284 1290 1453 1592"> <tr> <td>・市内ミュージシャンによる ロビーコンサート(4回)</td> <td>7月6日(土)他</td> <td>(ハマユリックスホール) 他</td> <td>来場者560人</td> </tr> <tr> <td>・まほろばワンデーシアター</td> <td>7月28日(日)</td> <td>(国見町文化会館)</td> <td>来場者564人</td> </tr> <tr> <td>・長崎県美術館移動美術展 IN 雲仙市</td> <td>9月10日(火) ～19日(木)</td> <td>(吾妻町ふるさと会館)</td> <td>来場者750人</td> </tr> <tr> <td>・スパニッシュコネクションコンサート</td> <td>9月16日(月・祝)</td> <td>(国見町文化会館)</td> <td>来場者194人</td> </tr> <tr> <td>・雲仙太鼓祭り</td> <td>11月30日(土)</td> <td>(愛の夢未来センター)</td> <td>来場者538人</td> </tr> <tr> <td>・ゆめみらい新春落語会</td> <td>2月1日(土)</td> <td>(愛の夢未来センター)</td> <td>来場者285人</td> </tr> </table>			・土黒小学校	9月17日(火)	ワークショップ	参加者 32人		10月11日(金)	人形劇	参加者186人	・千々石第一小学校	10月 9日(水)	ワークショップ	参加者239人		12月 4日(水)	京都フィルハーモニー室内合奏団	参加者299人	・第13回雲仙市民音楽祭	11月24日(日)	(愛の夢未来センター)	300名	・第14回雲仙市民美術展覧会	2月13日(木)～16(日)	(愛の夢未来センター)	665名	・市内ミュージシャンによる ロビーコンサート(4回)	7月6日(土)他	(ハマユリックスホール) 他	来場者560人	・まほろばワンデーシアター	7月28日(日)	(国見町文化会館)	来場者564人	・長崎県美術館移動美術展 IN 雲仙市	9月10日(火) ～19日(木)	(吾妻町ふるさと会館)	来場者750人	・スパニッシュコネクションコンサート	9月16日(月・祝)	(国見町文化会館)	来場者194人	・雲仙太鼓祭り	11月30日(土)	(愛の夢未来センター)	来場者538人	・ゆめみらい新春落語会	2月1日(土)	(愛の夢未来センター)	来場者285人
・土黒小学校	9月17日(火)	ワークショップ	参加者 32人																																																
	10月11日(金)	人形劇	参加者186人																																																
・千々石第一小学校	10月 9日(水)	ワークショップ	参加者239人																																																
	12月 4日(水)	京都フィルハーモニー室内合奏団	参加者299人																																																
・第13回雲仙市民音楽祭	11月24日(日)	(愛の夢未来センター)	300名																																																
・第14回雲仙市民美術展覧会	2月13日(木)～16(日)	(愛の夢未来センター)	665名																																																
・市内ミュージシャンによる ロビーコンサート(4回)	7月6日(土)他	(ハマユリックスホール) 他	来場者560人																																																
・まほろばワンデーシアター	7月28日(日)	(国見町文化会館)	来場者564人																																																
・長崎県美術館移動美術展 IN 雲仙市	9月10日(火) ～19日(木)	(吾妻町ふるさと会館)	来場者750人																																																
・スパニッシュコネクションコンサート	9月16日(月・祝)	(国見町文化会館)	来場者194人																																																
・雲仙太鼓祭り	11月30日(土)	(愛の夢未来センター)	来場者538人																																																
・ゆめみらい新春落語会	2月1日(土)	(愛の夢未来センター)	来場者285人																																																
評価検証及び課題	<ul style="list-style-type: none"> 「文化芸術による子どもの育成事業」を活用し、子どもたちに質の高い文化芸術を鑑賞・体験する機会を提供した。 自主文化事業は、地域で活躍する子ども達や文化団体がステージに立つなど、地元の人材を活用した公演を行うことができ、地域全体の文化芸術振興への関心を高め、出演者、観客ともに満足度の高い公演につながった。 雲仙市文化連盟の組織強化や会員相互の交流活性化を引き続き図っていく必要がある。地域課題解決につながる文化事業や組織の在り方について検討していきたい。 																																																		
自己評価	B	<p>A：計画を上回って進捗 B：計画どおり進捗 C：一部課題はあるが概ね計画どおり進捗 D：計画が全体的に遅れ E：計画に大幅な遅れ又は見直しが必要</p>																																																	
次年度以降の取組	<ul style="list-style-type: none"> 新しく開館した「愛の夢未来センター」を活用した自主文化事業をはじめ、雲仙市文化連盟による市民音楽祭や市美術展覧会を開催する。 雲仙市文化連盟、雲仙市文化会館自主文化事業振興会の、自立した組織の在り方を検討する。 																																																		

基本方針	文化芸術の振興と歴史の継承	主要施策 2	伝統的建造物群保存地区事業の推進
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 修理修景事業を推進し、伝統的まちなみ景観の整備を図る。 ・ 緋寒桜の郷まつり等、市民と連携したイベントを開催し、まちなみを活用した地域活性化を推進する。 ・ 防災計画に基づく消火設備及び自主防災組織の充実を図る。 		
元年度の取組状況	<p>○修理修景事業の推進 まちなみ景観の向上を図る為の修理事業及び次年度実施の為の協議、設計を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 修理事業（民間補助）2件（27,372千円） ・ 次年度実施の為の協議、測量設計 民間事業 2件、直営事業 3件 ・ 景観復原に係る基本設計 1件（281千円） ・ 県警官舎跡地鑑定評価（165千円） <p>○生垣剪定の実施 景観の重要構成要素である生垣の剪定奨励に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実施件数36件（406千円） <p>○市民と連携したイベント開催 市民が結成する緋寒桜の郷まつり実行委員会に参画し、演奏会、物販、絵画展、囲碁大会等の事業を実施した。</p> <p>○防災に強いまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自治会避難訓練合同易操作消火栓放水訓練の実施 1回（6月16日） <p>○空き家対策 現在、修理事業を行っている家屋に隣接する空き家の相続人から相談を受け、伝建制度等の説明を行った。</p>		
評価検証及び課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 修理修景事業について、広報誌発行による啓発や相談を通じて実施を働きかけた。 ・ 保存地区は木造の建造物群であり、火災による消失を防ぐ必要があることから防災施設整備の実施や、自主防災組織の活動充実に取り組んでいく必要がある。 ・ 地域住民の高齢化とともに、空き家の増加が懸念されることから、住民有志による空き家対策の活動を支援し対策を講じる必要がある。 		
自己評価	B	A：計画を上回って進捗 B：計画どおり進捗 C：一部課題はあるが概ね計画どおり進捗 D：計画が全体的に遅れ E：計画に大幅な遅れ又は見直しが必要	
次年度以降の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民との小まめな相談を行い、修理修景を通して文化財の保存と景観の維持を図る。 ・ 市民団体に参画して緋寒桜の郷まつりを開催し、文化財の公開と地域活性化に努める。 ・ 保存会及びNPO法人と連携し空き家所有者との相談を行い、空き家の解消を図る。 		

基本方針	文化芸術の振興と歴史の継承	主要施策 3	重要文化財 旧鍋島家住宅の公開活用
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> ・保存活用計画に基づいた管理運営と施設環境の整備を行い、重要文化財の保存を図る。 ・市内の多様なイベントや企画との連携により、施設の有効活用と集客を推進し文化財の公開活用を推進する。 		
元年度の取組状況	<p>○入場者数 施設の公開 ・入場者数 6,026名 ※平成30年度 7,637名</p> <p>○企画事業の実施 ・市主催 収蔵品の展示や、庭園での演奏会（1回）、茶会（1回）を開催した。 緋寒桜の郷まつりイベントと連携し、1,912名集客があった。 緋寒桜開花時期にはガイドを配置し、鍋島邸や伝建地区の説明を行った。</p> <p>○環境維持 季節に合わせた樹木の剪定管理や除草作業を行い、環境の維持に努めた。 ・緋寒桜の樹勢回復措置及び移植（530千円） ・剪定及び除草実施回数 15回（1,495千円） 鍋島邸の適正な維持管理のための修繕及び測量設計等を行った。 ・建具、照明等修繕 5件 ・庭園排水等整備測量設計（2,728千円） ・中庭池修理工事実施設計及び技術指導（425千円）</p> <p>○収蔵庫の整理 収蔵庫に適切に鍋島家の収蔵品を保管するため、殺虫等の処理を行い収蔵品を収納した。 ・鍋島家収蔵品燻蒸 1回（429千円）</p>		
評価検証及び課題	<ul style="list-style-type: none"> ・建物、庭園の適切な管理に努め、文化財の保存と公開活用に努めた。主屋の瓦等が未修理であり、国県と相談しながら改修時期を検討する必要がある。 ・鍋島邸の入場者数の約8割が緋寒桜の開花時期に集中しており、気候の変化により開花が遅れると観光客が減少するなど自然の影響が大きい。 		
自己評価	B	<p>A：計画を上回って進捗 B：計画どおり進捗 C：一部課題はあるが概ね計画どおり進捗 D：計画が全体的に遅れ E：計画に大幅な遅れ又は見直しが必要</p>	
次年度以降の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・将来的な修理に備え事前調査を行い、国県との相談を行う。 ・庭園等環境維持に努める。天然記念物の緋寒桜は県樹木医会に委託し通年管理を行う。 ・鍋島邸ガイドの充実のため、多言語化を含めたガイドシステムの導入を検討する。 		

基本方針	文化芸術の振興と歴史の継承	主要施策 4	伝統文化の継承
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> 自治会と連携した郷土芸能の実施状況と課題の把握を行い、郷土芸能を絶やすことのないよう支援を行う。 		
元年度の取組状況	<p>○伝統文化の継承 市内のハタ保存会の活動支援を実施し、ハタづくりの指導やハタあげ大会を実施した。 愛のまち剣舞箏保存会（50千円）、吾妻町はた保存会（50千円）</p> <p>○子ども対象の伝統文化体験 地域子ども教室として、公民館などで各種の子ども対象教室を実施しており、茶道、民謡、囲碁、将棋などの伝統文化に親しむ機会を設けた。 ・囲碁 46回 ・将棋 35回 ・茶道 36回 ・民謡 31回</p> <p>○郷土芸能団体の育成 郷土芸能は、各地域の歴史や風土の中で、人々の生活の中で育まれてきたもので、豊作や豊漁、厄払いなど地域の生業や文化に根ざしたものが多く、今般の職種や勤務体系が複雑化した社会においては継承が難しくなっていると思われる。</p>		
評価検証及び課題	<ul style="list-style-type: none"> ハタ保存会の活動支援を行い、ハタ作り体験や、ハタあげを実施していただいたが、新規会員の加入があったものの、会員の高齢化、後継者不足が課題となりつつある。 郷土芸能団体は、自治会等の組織で継承が位置づけられるなど保存体制が確立しているもの以外は、継承が困難になりつつある。今後、保存継承方法について見直しが必要である。 		
自己評価	E	A：計画を上回って進捗 B：計画どおり進捗 C：一部課題はあるが概ね計画どおり進捗 D：計画が全体的に遅れ E：計画に大幅な遅れ又は見直しが必要	
次年度以降の取組	<ul style="list-style-type: none"> 市内ハタ保存会の活動支援を行い、伝統文化の継承と、ハタあげにふれあう機会をつくる。 放課後子ども教室等において、地域指導者の協力を得て伝統文化に親しむ機会を設ける。 保存継承が困難な郷土芸能については、映像など記録保存に努める。 		

基本方針	文化芸術の振興と歴史の継承	主要施策 5	文化財保護啓発の推進
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> ・市指定文化財の追加指定を行う。【(H26) 47件 → (H32) 目標55件】 ・歴史講座等を定期的を開催する。【(H26) 5件 → (H32) 目標10件】 		
元年度の取組状況	<p>○文化財の保護活動 指定文化財などの巡視、清掃、補修、生息調査を行い保護に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・清掃活動 2箇所（鬼の岩屋、五万長者屋敷跡） ・オキチモズク生息確認(国見) 4回 ・鍋島家下坊墓所墓石拓本採取(国見) ・文化財看板、標柱の修理 3件（安養寺ほか） <p>特別名勝温泉岳、伝統的建造物群保存地区、埋蔵文化財等文化財の現状変更行為に対する許可申請手続きの啓発を行った。 市広報誌 3回 ホームページ掲載</p> <p>○千々石ミゲル推定墓 表装した千々石ミゲル推定墓の拓本を千々石町の文化祭で展示を行った。</p> <p>○歴史講座の開催 市民講座と連携し、歴史講座を実施した。 古文書読み方講座 1回</p>		
評価検証及び課題	<ul style="list-style-type: none"> ・指定文化財を維持していくため、必要な清掃等や調査を行った。 ・古文書を活用し、歴史に触れてもらうため古文書の読み方講座を開催した。今後も郷土の歴史など市民の関心の高いテーマで学習機会を提供する必要がある。 		
自己評価	C	A：計画を上回って進捗 B：計画どおり進捗 C：一部課題はあるが概ね計画どおり進捗 D：計画が全体的に遅れ E：計画に大幅な遅れ又は見直しが必要	
次年度以降の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・市内文化財に関する講座を開催するとともに、座学だけでなく現地見学を行うなど体験型の講座も開催するよう努める。 ・指定文化財の定期的な巡視と観察を行い、適切な保護活動に努める。 		

基本方針	文化芸術の振興と歴史の継承	主要施策 6	埋蔵文化財の保存活用
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> 農業基盤整備事業に伴う発掘調査事業を完遂する。 雲仙市歴史資料館における発掘調査成果の公開・活用を図る。 <p>【国見展示館入館者数 (H26) 3,099名 → (H32) 目標 3,500名】</p>		
元年度の取組状況	<p>○瑞穂総合支所建設に伴う伊古遺跡発掘調査 建物建設に伴う工事により遺跡の消滅する部分の発掘調査を行った。(4,045千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> 弥生時代から江戸時代までの出土品や遺構が検出された。 弥生時代の河川跡には護岸を整備した痕跡が見られ、以前の調査成果も含めると弥生時代の大規模な集落が存在していたことがわかる。 中世から近世にかけては水田もしくは畑の区画と考えられる遺構が検出され、雲仙市では初めての発見となった。 <p>○愛津原地区基盤整備事業に伴う火箱遺跡・展望台遺跡発掘調査(2件 7,220㎡) 基盤整備事業に伴う工事により遺跡の消滅する部分の発掘調査を行った。(61,777千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> 旧石器時代から江戸時代の遺物・遺構が発見された。 旧石器時代の遺物は2万数千年前のものと考えられ、愛野町地域では最古の出土品である。 その他、奈良平安時代の竪穴住居跡と考えられる遺構や、江戸時代の道路跡と考えられる遺構が発見されており、長期間人々の生活の場として利用されていたことがわかる。 <p>○市内遺跡発掘調査 市内の各種開発事業に伴い遺跡の内容確認(試掘)調査を実施した。(14件)</p> <ul style="list-style-type: none"> 防火水槽整備や個人住宅・アパート建設、基盤整備事業の施工前に、事前の確認調査を実施し、調査の結果に合わせて、文化財の保護を講じるよう指導を行った。 <p>○守山大塚古墳レーダー調査 県内最古最大級の前方後円墳である、吾妻町守山大塚古墳の保護のため、掘削を伴わない、地中レーダ探査調査を実施した。古墳の基礎部分の石列と考えられる構造物が確認された。令和4年度まで継続して行う予定である。</p> <p>○国見展示館企画展等</p> <ul style="list-style-type: none"> 企画展を開催した。(11~12月市内発掘調査展・1~3月発掘された島原半島展) 国見展示館入館者数 R元実績 1,018名 (H30実績1,244名) ※H27年度に、隣接の「まちなみ交流館」の整備公開に伴い、国見展示館校舎で行っていた緋寒桜の郷まつり会場が移ったためその分の利用者が減少している。 夏休み講座 まが玉づくり 4地域 5回 95名参加 出前講座 神代小学校 39名 		
評価検証及び課題	<ul style="list-style-type: none"> 愛津原地区基盤整備事業に伴う発掘調査は令和3年度まで調査及び報告書作成を行う。それ以外にも今後、桃山田地区や南串山地区、宮田地区についても基盤整備事業に伴う発掘調査が続く見通しであり、現地調査の遂行と終了した分の調査報告書作成作業の両立を図っていかなければならない。 守山大塚古墳レーダー調査により、古墳周囲の地下に古墳の基礎部分が残されていることが判明し、今後の古墳の保存・活用にいかせる調査となった。 国見展示館等市内資料館・展示館において、発掘調査成果の企画展等計画し、今後も市内文化財の周知を図っていく必要がある。 		
自己評価	B	<p>A: 計画を上回って進捗 B: 計画どおり進捗 C: 一部課題はあるが概ね計画どおり進捗 D: 計画が全体的に遅れ E: 計画に大幅な遅れ又は見直しが必要</p>	
次年度以降の取組	<ul style="list-style-type: none"> 開発に伴う発掘調査及び報告書の作成、現地説明会などを行い、調査成果の活用を図る。 国見展示館等での企画展等を通して、調査成果の周知と歴史学習に寄与する。 文化財保護啓発冊子の作成を行い、文化財保護に取り組む。 		

(5) スポーツの振興

点検評価シート

担当課 スポーツ振興課

基本方針	スポーツの振興	主要施策 1	運動・スポーツ活動の日常化の推進
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ人口増加のための教室・大会を毎年実施し、成人の週一回以上のスポーツ実施率を高める。 【※長崎県目標 (H32) 65%】 ・スポーツ施設の利用者数の増大を目指す。 【年間利用者数 (H28・総合計画目標)382,000人→(H32)385,000人】 		
元年度の取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ○ 軽スポーツ団体の支援 雲仙市レクリエーション協会及びがまだすスポーツクラブの活動を指導・支援を行い、組織の拡充・活動の充実を図った。 【雲仙市レクリエーション協会】 補助金：400千円 <ul style="list-style-type: none"> ・5月31日 雲仙市レクリエーション協会総会 ・9月26日 第11回雲仙市民ウォーキング大会 会場：南串山町 参加者：97名 ・11月24日 県民スポレク祭2019「雲仙アツマクロス大会」 参加者：54名 (24チーム) ・2月24日 第1回雲仙市ペタンク大会 参加者：71名 (26チーム) ※構成団体数：5団体 構成人数：212人 【がまだすスポーツクラブ】 <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ教室 10教室開催 総計177名 ・6月26日 ソフトバレー教室交流大会 参加チーム18チーム ・11月17日 スポーツフェスティバル開催 419名参加 ○ スポーツ教室等の実施 市民に対し、運動機会の提供・紹介のための軽スポーツ等の教室を実施した。 <ul style="list-style-type: none"> ・7月6日 水泳教室の開催 (初心者7/6～8/17 39名、中級・上級7/7～8/18 37名) ・9月8日 陸上教室の開催 (9/8～9/29 小学生3年～6年生 参加者：41名) ○ 雲仙市民運動会の開催 雲仙市全域を健康で明るく活気に満ちた地域づくりにつなげていく運動会 <ul style="list-style-type: none"> ・日時：10月20日 9:00～15:00 ・会場：愛野運動公園グラウンド ・参加者等：約4,000人 ※ スポーツ施設年間利用者数 R1 322,499人		
評価検証及び課題	<ul style="list-style-type: none"> ・軽スポーツ団体の支援については、計画どおり進捗している。市民ウォーキング大会等への参加者も多く、日常的にスポーツに取り組む人が増加している。 ・スポーツ教室については、水泳教室や陸上教室を開催し、クラブ活動をしていない児童も参加したことで運動をする機会の提供ができた。 ・市民運動会については、晴天にも恵まれ、多くの選手・観覧者のもと開催し、運動不足の方が、運動を行うきっかけづくりにもなったと思われる。 次回は、令和4年開催予定となっていることから、内容等の検討を随時行う予定。 		
自己評価	B	A：計画を上回って進捗 B：計画どおり進捗 C：一部課題はあるが概ね計画どおり進捗 D：計画が全体的に遅れ E：計画に大幅な遅れ又は見直しが必要	
次年度以降の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・一般市民が多く参加できる軽スポーツ大会等の取組を行う。 ・ラジオ体操の推進については、一般市民を対象にイベント等の開催を実施するとともに各種大会や企業などでラジオ体操を取り入れるよう推進を行う。 		

基本方針	スポーツの振興	主要施策 2	スポーツの競技力向上												
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> ・競技力向上を目指す雲仙市体育協会の活動を支援する。 ・優秀選手の育成のための奨励事業を行う。 														
元年度の取組状況	<p>○ 体育協会の運営支援 市民スポーツ大会をはじめとする市民の各種競技会の開催、ジュニアスポーツの競技力向上や競技人口の拡大のための講習会や教室を行う雲仙市体育協会の活動支援を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雲仙市体育協会補助金（競技団体活動助成金）の執行状況把握と指導を行う。 体育協会加盟団体 19競技団体（1,567人） 補助金 17,301千円 各種スポーツ大会等の開催 市内全域の大会 41大会 各地区単位の大会 32大会 教室開催 39教室 ・R元.7～8 市民スポーツ大会開催支援 補助金 1,654千円 総合開会式：令和元年7月26日（金） 大会期間：令和元年7月28日（日）～8月25日（日） 実施競技：19競技 参加者総数：2,109人 ・R元.11 県民体育大会へ派遣するため、市体育協会を通して出場に係る経費の一部を助成する。 18競技 481名参加 <p>○ 補助金等による経済的支援 優秀な成績で上位大会へ出場する選手や団体に対し経費の一部を助成し、負担の軽減と向上意識の高揚を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市の代表として長崎県大会等を勝ち進み、九州大会、西日本大会及び全国大会に出場した者に対し、激励費を交付した。 件数：100件（延べ230人） 3,050千円 <table border="0" data-bbox="331 1451 1214 1563"> <tr> <td>交付基準額</td> <td>①九州大会及び西日本大会</td> <td>10,000円</td> <td>61件</td> </tr> <tr> <td></td> <td>②全国大会</td> <td>20,000円</td> <td>38件</td> </tr> <tr> <td></td> <td>③国際大会</td> <td>30,000円</td> <td>1件</td> </tr> </table>			交付基準額	①九州大会及び西日本大会	10,000円	61件		②全国大会	20,000円	38件		③国際大会	30,000円	1件
交付基準額	①九州大会及び西日本大会	10,000円	61件												
	②全国大会	20,000円	38件												
	③国際大会	30,000円	1件												
評価検証及び課題	<ul style="list-style-type: none"> ・体育協会の運営支援については、計画どおり進捗しているが、各競技団体の構成員が減少傾向にあることから、各競技ごとの競技力向上を図るとともに、各競技団体の支部活動の支援を行い構成員減少の対策を行う必要がある。 ・補助金等による経済的支援については、計画どおり進捗している。体育協会加盟団体及び関係競技団体等と連携し各種大会を実施したことにより、上位大会へ出場する個人・団体が増えた。併せて長年ジュニアスポーツの推進を図ったことにより、高校生等の上位大会へ出場する個人が増えた。 														
自己評価	B	A：計画を上回って進捗 B：計画どおり進捗 C：一部課題はあるが概ね計画どおり進捗 D：計画が全体的に遅れ E：計画に大幅な遅れ又は見直しが必要													
次年度以降の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・体育協会の運営支援を行うとともに、各競技団体の構成員数が減少傾向にあることから、各競技団体が行う大会及び教室開催等の活動を支援し、スポーツ人口の増加を図る。 ・競技力の向上並びに優秀選手を育成するために、ジュニアスポーツの推進と体育協会各競技団体等の競技力向上の連携を図りながら、経済的支援を行う。 														

基本方針	スポーツの振興	主要施策 3	ジュニアスポーツの推進
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちの健全なスポーツ活動の普及のため、育成組織の指導・支援と適切な活動環境の整備に努める。 小学生クラブ活動振興会で活動する子どもたちの割合を増やす。 【市内児童（5,6年生）の割合 (H26) 50%→(H32) 55%】 		
元年度の取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ○ 振興会等団体に対する活動・運営支援 少年期における健康な身体づくりと、将来のスポーツ活動への意欲を育むため、適切な競技指導とクラブ運営を行う小学生クラブ活動振興会及び部活動振興会に対し、運営のための経費の一部を助成して、その活動を支援した。 <ul style="list-style-type: none"> 市内の小学生クラブの活動を支援するため、活動費の補助を行った。 団体数：51クラブ 構成部員数：707人 補助金 2,387千円 中学校部活動振興会（担当課：学校教育課） 団体数：7部 構成部員数：920人 補助金 4,117千円 ○ 指導者・保護者等の研修会の実施 ジュニアスポーツの指導者・保護者等を対象に、指導のためのスポーツ医科学やメンタルトレーニング等の研修会を実施した。また毎日の練習時間や休日の設定などを徹底し、指導者・保護者等とともに、子どもたちの適切な活動環境の整備に努めた。 <ul style="list-style-type: none"> 11月13日 スポーツ医・科学基礎講座 会場：瑞穂体育館 参加者数：194名 11月20日 スポーツ医・科学基礎講座 会場：吾妻体育館 参加者数：270名 11月27日 スポーツ医・科学基礎講座 会場：小浜体育館 参加者数：191名 ○ 補助金等による経済的支援 優秀な成績で上位大会へ出場する選手や団体に対し、経費の一部を助成し、負担の軽減と向上意欲の高揚を図った。 <ul style="list-style-type: none"> 市内在住の児童及び生徒を対象として、長崎県大会以上の大会に出場した個人及び団体に対し、旅費及び宿泊費の50%以内で補助を行った。 件数：73件 (531人) 補助金 3,235千円 国際大会：1件、1人 全国大会：24件、59人 九州大会：25件、137人 県大会：22件、332人 <p>※ 小学生クラブ活動振興会で活動する市内児童（5・6年生）の割合 R1 52.5%</p>		
評価検証及び課題	<ul style="list-style-type: none"> 小学生クラブ活動振興会で活動する市内児童（5・6年生）の割合が昨年度より0.9ポイント増。大会出場補助金を行った件数は昨年度より3件増となった。 各クラブ等の毎日の練習時間や休養日の設定を徹底することが課題である。 		
自己評価	C	<p>A：計画を上回って進捗 B：計画どおり進捗 C：一部課題はあるが概ね計画どおり進捗 D：計画が全体的に遅れ E：計画に大幅な遅れ又は見直しが必要</p>	
次年度以降の取組	<ul style="list-style-type: none"> 指導者・保護者等を対象に研修会を実施し、子どもたちの適切な活動環境の整備に努めるとともに、各クラブの休養日の設定を徹底させる。（指導者の研修会への参加） 小中学生スポーツ大会出場補助金は、手続きが煩雑であるとの声があり、R2年度より激励費に移行する。 		

基本方針	スポーツの振興	主要施策 4	快適な活動の場の提供																				
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> スポーツ施設の適正な維持管理に努めるとともに、利用しやすい環境整備に努め、スポーツ施設の利用者数の増大を目指す。 【年間利用者数 (H28・総合計画目標)382,000人→(H32)385,000人】 																						
元年度の取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ○ 社会体育施設（設備・備品）の適正な管理運営 市内のスポーツ施設が快適に利用できるよう、適切な維持・管理を実施した。 【社会体育施設整備事業】 事業費 20,952千円 みずほすこやかランドプール電源改修工事 4,245千円 みずほすこやかランドグラウンドフェンス取替工事 2,540千円 遊学の館テニスコート照明装置修繕工事 1,486千円 吾妻体育館トレーニング機器購入 2,754千円 ほか 修繕・委託・工事・備品購入等 9,927千円 【新小浜体育館整備事業】 事業費 33,547千円 雲仙市新小浜体育館（仮称）新築工事設計業務 32,805千円 ほか 旅費・役務費・使用料 742千円 ○ 適切な利用のための予約制度の確立 各種スポーツ活動が円滑に実施されるよう、施設の利用調整や早期予約制度の改良を進めた。 R1社会体育施設及び学校開放施設の利用状況 <table border="1" data-bbox="268 1081 1216 1234"> <thead> <tr> <th></th> <th>施設数</th> <th>利用件数</th> <th>早期予約申請</th> <th>年間利用者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>社会体育施設</td> <td>20</td> <td>16,523</td> <td>665</td> <td>268,605</td> </tr> <tr> <td>学校開放施設</td> <td>25</td> <td>3,627</td> <td>278</td> <td>100,562</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>45</td> <td>20,150</td> <td>943</td> <td>369,167</td> </tr> </tbody> </table> ○ 指定管理者制度による民間活力の導入 施設をより快適に活用できるよう、また、より高度なサービスが提供できるよう、施設の運営に民間企業のノウハウ等を導入する指定管理者による施設運営を進めた。 【国見総合運動公園（遊学の里くにみ）】 指定管理者：特定非営利活動法人V・ファーレン長崎スポーツコミュニティ 指定管理契約期間：平成31年4月1日～令和5年3月31日 指定管理料：31,000千円 年間施設利用者数：71,128人（入浴者35,803人、部屋使用168人、宿泊者3,631人、グラウンド他31,526人） <p>※ スポーツ施設年間利用者数 R1 369,167人</p>				施設数	利用件数	早期予約申請	年間利用者数	社会体育施設	20	16,523	665	268,605	学校開放施設	25	3,627	278	100,562	計	45	20,150	943	369,167
	施設数	利用件数	早期予約申請	年間利用者数																			
社会体育施設	20	16,523	665	268,605																			
学校開放施設	25	3,627	278	100,562																			
計	45	20,150	943	369,167																			
評価検証及び課題	<ul style="list-style-type: none"> 小浜体育館整備事業については、計画どおり工事本契約を締結した。他社会体育施設については、整備計画に基づき修繕等を適正に行った。瑞穂体育館は、耐震診断の結果、耐震性がないと判断され、耐震補強が不可欠な状況にあることから、改修工事の実施については周辺施設との統廃合も含めて検討する必要がある。 国見総合運動公園（遊学の里くにみ）については、民間企業のノウハウ等の導入により、快適に施設利用ができるよう施設運営を行った。 																						
自己評価	B	A：計画を上回って進捗 B：計画どおり進捗 C：一部課題はあるが概ね計画どおり進捗 D：計画が全体的に遅れ E：計画に大幅な遅れ又は見直しが必要																					
次年度以降の取組	<ul style="list-style-type: none"> 小浜体育館については、本体工事が予定どおり進むように適切な工事監理に努めるとともに、他の社会体育施設の今後のあり方について、検討を進める。 R2年度より管理することとなったリフレッシュセンターおばまについては、指定管理施設であることから、民間のノウハウ等を活かし快適な施設運営を行う。 																						

7. 学識経験者の所見

(1) 点検・評価に対する総評

本市教育行政推進の基本として策定された「雲仙市教育振興基本計画」は、令和2年度をもって5か年の計画を終了する。最終年度となる今年度においては、これまで展開されてきた様々な施策及び目標達成状況を精査し、総括的な取組がなされているものと推察する。

雲仙市教育方針「明日を担う人づくりと誇りあるふるさとづくり」のもと、25項目の主要施策を掲げての本計画の事業推進は、児童生徒や市民の存在を根底に据えた取組であり、成果と課題を真摯に受け止めながら、目標達成に向けての取組が精力的に展開されてきている。たとえば、毎月の定例会や必要に応じて開催される臨時会においては、施策や事業の効果的・効率的な実施や緊急な課題への対応を図るための協議がなされている。また、教育行政上の諸問題等について市長と協議する総合教育会議も開催されている。さらには、学校訪問や諸行事・会合等への積極的な参加を通して、教育行政運営上の課題等を把握し、事業推進に生かされていることも評価される。

教育委員会や担当課のこうした地道で粛々とした取組こそが、市教育行政の基盤となり、学校や市民からの信頼を得るものと考ええる。加えて、雲仙市教育大綱（令和2年度～6年度）の策定や定例会議議事録のホームページ上での公表等、市民に対して開かれた教育行政が展開されていることも評価したい。

「雲仙市教育振興基本計画」に基づいた今年度の取組は、目標達成に向けての総括的な事業展開という意味でたいへん重要である。同時に、そのような取組の一つひとつが、今年度以降の新たな課題解決に向けての指標となるものであり、改善につながるものとして期待しているところである。

(2) 「施策の方針」に係る個別ごとの評価

①教育環境の整備について

快適な学習環境づくりの一環として、小・中学校の安全・安心な教育環境維持のため、施設の修繕、改修工事等が計画的に進められている。また、教育環境改善及び防災機能強化を図るための事業として、市内全小・中学校における空調設備の整備、老朽化した校舎外壁等の耐震補強工事の実施等、防災機能の強化と安全・安心な教育環境の整備がなされている。とりわけ、小・中学校普通教室等の空調設備の整備、社会教育施設である「愛の夢未来センター」等の竣工は、市民のニーズに応えた整備事業である。その活用状況も十分期待に応えるものであり、本事業がたいへん意義あるものであったと確信しているところである。

ICT環境の整備については、小学校へのデジタル教科書の導入、さらには電子黒板関連機器が全小・中学校普通教室及び理科室への配置も完了し、当初の目標

が達成されている。限られた予算の中、児童生徒や市民のために着々と事業推進に努めてきた市教育行政の姿勢は、賞賛に値するものである。

こうした事業推進の中、やや懸念されるのが、いわゆる費用対効果ということである。たとえば、整備済のデジタル教科書や電子黒板、今年度一人一台整備予定の端末機器等、高額予算を執行しての事業に対して、学校現場での十分な活用が求められるところであり、老朽施設の耐震補強工事等に係る予算確保もたいへん厳しい中、ICT環境の整備が進む学校現場においては、是非ともその有効活用を期待するとともに、そのための教員研修の実施等、学校現場の声を生かした取組や支援をお願いしたい。

②学校教育の充実について

確かな学力を育成する教育の推進として、学力向上対策研修会や研究指定事業、学力調査事業等、継続的かつ積極的に事業が展開され、着実な成果につながっている。その顕著なものが学力調査の結果である。全国学力調査においては、小学校は算数、中学校は国語・英語で全国平均を下回っているものの、県学力調査においては、小学校は国語・算数・理科のすべての教科において平均を上回り、県下で上位に位置している。とりわけ、算数は県内21市町中1位という好結果を得ており、賞賛にされるべきものである。

ここ数年間、市内小・中学校の学力調査結果は右肩上がりとなっており、着実に学力が向上していることが見て取れる。過去において、学力低迷が危惧され、市学校教育の大きな課題として危機感さえ覚えた時期もあったが、各種研修等の対策を積み重ね、教職員の学力向上に対する意識改革が図られてきたことが、このような結果に結びついていると考える。中学校英語の課題解決や更なる学力向上に向けて、県と連携しての学力向上に係る学校訪問等、具体的対策を講じての継続的な取組に期待したい。

豊かな心を育む教育の推進については、まずもって「特別の教科 道徳」の全面实施に伴う授業改善が、各小・中学校において積極的に展開されていることが窺える。各種研修会や今年度開催予定の大塚小学校研究発表会の実践等を通して、「特別の教科」として設定された道徳科の授業改善の在り方を積極的に発信していただきたい。

また、小学校間交流学習や子どもの心を見つめる教育週間等の継続的かつ工夫した取組によって、体験的に心を磨く場が定着化していることも改めて評価したい。併せて、いじめ防止対策の一環として、各学校のいじめ防止対策委員会に外部委員を置き、いじめ見逃しゼロをめざすという方向性については、大いに納得できるものである。各学校においては、改めて「いじめを許さない」という思いを強くして、家庭・地域を巻き込んでの充実した取組がなされていくことを期待

するものである。

学校体育の推進に関しては、小・中学校の体力の状況が全国平均と比較して概ね良好である。課題となっている「柔軟性の向上」については、各学校の「体力アクションプラン」に具体的方策と評価を位置づけ、検証を行うといった基本的対策のもと、繰り返しの実践と工夫・改善に期待するものである。

数値目標という観点から、やや気がかりな点として一点目に挙げられるのは、なかなか数の減少が見られない不登校問題である。訪問指導や相談などの直接的な支援活動を通して、学校不適応児童生徒への細やかな対応ができていることが安心材料ではあるが、今後もこうした学校や関係機関と連携しての対応が継続されることを期待するとともに、一人ずつでも数が減少していくことを願うものである。

二点目には、給食残菜量についてである。これも難しい課題であり、管理職研修会等での現状説明を行うなどの対策も講じられているが、食育指導が各学校でどれくらい浸透しているか疑問に思うところがある。食育校内研修を定期的を実施するなど、教職員や児童生徒の食に対する意識向上を図るために、更なる取組の充実と支援をお願いしたい。

③生涯学習の推進について

家庭及び地域の教育力の高めるために多くの取組がなされているが、やはりおろそかにできないのがメディア安全対策と考える。学校やPTAと連携しての安全講話の開催等、メディア機器の安全使用に係る啓発のために意義ある事業と捉えている。改善の余地があるとすれば、市内一律で開催されている小中学校新入学保護者説明会時のメディア安全講話は、各学校が時間確保に苦慮しており、わずかな時間で実施されているのが現実と思われる。町・単位PTAの事業としての開催、あるいは学校の授業参観時の開催等、各学校の実情に沿った場の工夫・改善について一考をお願いしたい。

読書環境の充実については、年間を通じての読書推進イベントが開催され、読書啓発活動が活発になされていることが評価される。図書館（室）の利用者数と貸出冊数がほぼ横ばい、減少傾向となっているが、こうした取組が魅力的な図書館（室）運営の土台となり、ひいては読書活動の推進につながるものとする。

また、多様な生涯学習プログラムとして、改めて多岐にわたる市民講座の数や内容に目をやると、その充実ぶりは目を見張るものがある。かつては文化面に關わる活動の低迷を懸念する声も聞かれたが、こうした事業推進によって活性化が図られていることは当然評価すべきものであり、一層の発展を願うものである。

④文化芸術の振興と歴史の継承

子どもや一般市民を対象とする文化芸術体験・鑑賞機会等の文化活動は、文化芸術振興への関心を高め、人々の心に潤いを与えるエッセンスになるものである。こうした事業に関わる雲仙市文化連盟は、組織の強化・自立といった課題も挙げられているが、まずは後継者育成等を徐々にでも進めていくことが解決策の第一歩と考える。関係者の努力により、文化活動が充実している状況を踏まえ、抜本的な対策・改善に期待するとともに、一層の発展を願うものである。

また、文化財保存や景観・環境維持、あるいはハタ保存会活動といった伝統文化の継承に関わる事業等、継続的な活動支援がなされていることが大きく評価される。加えて、「旧鍋島家住宅」におけるイベントの企画や環境維持といった重要文化の保存・活用も疎かにされていない。さまざまな課題も存在しているようだが、関係団体等との連携を一層深めながらの事業推進に期待したい。

⑤スポーツの振興について

スポーツ人口増加のための教室や大会が毎年実施され、併せて軽スポーツ団体への支援も充実し、そのことが運動・スポーツの日常化に寄与していることがうかがえる。水泳教室や陸上教室等のスポーツ教室の開催は、特に子どもたちの関心を高め、スポーツに親しむ市民の底辺拡大につながるものであり、今後も継続させてほしい事業のひとつである。

スポーツの競技力向上にあたっては、ジュニアスポーツの推進や快適な活動の場の提供が深く関わってくるものと考え。その意味においては、市体育協会への運営支援や振興会等団体への活動・運営支援、そして、社会体育施設の管理運営等が、補助金等の経済的支援とともに細やかになされている。また、新小浜体育館の起工など、さらなるスポーツ環境の整備・充実が、競技力向上にも好影響を及ぼし、各競技団体構成員減少の課題解決の一助にもなり得ると期待しているところである。

児童生徒や市民の存在を第一にして、「雲仙市教育振興計画」の具現化を目指した事業推進、さらには、新型コロナウイルス対策という今年度新たな問題を抱えた中で、の真摯な取組に敬意を表する次第です。雲仙市教育委員会の一層の発展を祈念し、「教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況に係る点検・評価に関する報告書」に対する知見の報告とします。

令和2年8月13日

江川 儀平